

# 附 属 资 料



# 仙台市水防協議会条例

昭和25年7月1日

仙台市条例第30号

(設置等)

第1条 水防法(昭和24年法律第193号)第34条第1項の規定に基づき、本市に仙台市水防協議会(以下「協議会」という。)を置く。

第2条 協議会に関しては、水防法に定めるもののほか、この条例の定めるところによる。

(組織)

第3条 協議会は、次の者をもって組織する。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 2人
- (3) 委員 若干人

第4条 会長は、水防管理者をもって充てる。

2 副会長及び委員(第6条及び第8条において「委員等」という。)は、関係行政機関の職員並びに水防に係るのある団体の代表者及び学識経験のある者のうちから水防管理者が命じ、又は委嘱する。

(会長)

第5条 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

2 会長に事故があるときは、会長の指名する副会長がその職務を代理する。

(任期)

第6条 関係行政機関の職員たる委員等の任期は、当該職にある期間とし、その他の委員等の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員等の任期は、前任者の残任期間とする。

2 水防管理者において必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、その任期中においてこれを免じ、又は解嘱することができる。

(会議)

第7条 会長は、会議を招集し、その議長となる。

第8条 会議は、委員等の2分の1以上が出席しなければ開くことができない。

2 会議の議事は、出席した委員等の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(幹事及び書記)

第9条 協議会に幹事及び書記各々若干人を置き、会長がこれを命じ、若しくは委嘱し、又は免じ、若しくは解嘱する。

2 幹事は、会長の命を受け、庶務を処理する。

3 書記は、上司の命を受け、庶務に従事する。

(費用弁償)

第10条 会長、副会長、委員、幹事又は書記に対しては、費用を弁償することができる。

(委任)

第11条 この条例の施行について必要な事項は、市長が定める。

附 則

この条例は、昭和25年7月1日から施行する。

附 則（平成17年10月7日改正）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成24年3月16日改正）

この条例は、公布の日から施行する。

## 仙台市水防協議会委員等名簿

役職	職名等	氏名
会長	仙台市長	郡 和子
副会長	仙台市副市長	高橋 新悦
副会長	〃 危機管理局長	白山 幸喜
委員	仙台市議会議員	佐々木 真由美
委員	〃	ごとう 咲子
委員	仙台管区気象台気象防災部長	横井 信太郎
委員	東北運輸局総務部長	會田 光
委員	N T T 東日本株式会社宮城事業部宮城支店設備部長	梅本 直也
委員	東北地方整備局仙台河川国道事務所長	阿部 俊彦
委員	〃 釜房ダム管理所長	木村 晃
委員	宮城県仙台土木事務所長	鈴木 光晴
委員	〃 仙台地方ダム総合事務所長	岩渕 繁
委員	宮城県警察仙台市警察部長	後藤 延好
委員	宮城県消防協会仙台地区支部長	小松 謙一
委員	仙台市女性防火クラブ連絡協議会会長	野田 幸代
委員	仙台市建設局長	二階堂 聡
委員	仙台市消防局長	千葉 弘樹

役職	職名等	氏名
幹事	仙台管区気象台気象防災部予報課長	加茂 祐一
幹事	東北地方整備局仙台河川国道事務所河川管理課長	柿崎 憲勝
幹事	N T T 東日本株式会社宮城事業部災害対策室長	酒井 克典
幹事	宮城県仙台土木事務所技術主幹（河川砂防第一班長）	加茂 謙一
幹事	〃 仙台土木事務所技術次長（河川砂防第二班長）	佐藤 正俊
幹事	〃 仙台土木事務所次長（行政第二班長）	佐藤 玲子
幹事	宮城県警察本部警備部警備課災害対策室長	大野 憲明
幹事	仙台市青葉消防団長	菅山 美香
幹事	〃 宮城野消防団長	伊藤 睦裕
幹事	〃 若林消防団長	大内 文浩
幹事	〃 太白消防団長	小川 龍男
幹事	〃 泉消防団長	柴田 孝一
幹事	〃 秋保消防団長	伊藤 光一
幹事	仙台市経済局農林部農業土木課長	菊池 裕輝
幹事	〃 都市整備局建築宅地部宅地保全課長	佐藤 光啓
幹事	〃 建設局下水道建設部河川課長	佐藤 雅和
幹事	〃 〃 下水道管理部下水道調整課長	栗田 隆行
幹事	〃 〃 〃 下水道北管理センター所長	三塚 祐司
幹事	〃 〃 〃 下水道南管理センター所長	千葉 守
幹事	〃 青葉区まちづくり推進部区民生活課長	本田 光宏
幹事	〃 青葉区宮城総合支所まちづくり推進部参事兼区民生活課長	菅原 功郎
幹事	〃 宮城野区まちづくり推進部区民生活課長	尾崎 宏之
幹事	〃 若林区まちづくり推進部区民生活課長	寺澤 裕介
幹事	〃 太白区まちづくり推進部区民生活課長	永澤 信
幹事	〃 泉区まちづくり推進部区民生活課長	石川 邦雄
幹事	〃 消防局青葉消防署長	鈴木 一之
幹事	〃 〃 宮城野消防署長	長濱 俊伸
幹事	〃 〃 若林消防署長	中澤 公彦
幹事	〃 〃 太白消防署長	荒井 勲
幹事	〃 〃 泉消防署長	高橋 正裕
幹事	〃 〃 参事兼宮城消防署長	伊藤 睦雄
幹事	〃 〃 総務部総務課長	佐藤 恵
幹事	〃 〃 警防部警防課長	近藤 純一
幹事	〃 〃 警防部指令課長	難波 敏明
幹事	〃 危機管理局参事	高橋 宗弘
幹事	〃 危機管理局防災・減災部長	高橋 勝美
幹事	〃 〃 危機管理部危機管理課長	星 努
幹事	〃 〃 危機管理部危機対策課長	飯島 裕貴
幹事	〃 〃 防災・減災部防災計画課長	庄子 正宏
幹事	〃 〃 防災・減災部減災推進課長	神倉 崇

# 令和8年度 重要水防箇所別調書

(東北地方整備局)

河川名	距離標		地区名及び左右岸別	評定種別及び図面番号	令和8年度評定				対策水防工法名	水防警報対象観測所	担当分団	指導官所
	令和8年度				堤防(m)		工作物(箇所)					
					A	B	A	B				
名取川	0.8 +	50	日辺左岸	越水 1		2,857			警戒巡視 避難誘導	閉上第二 名取橋	六郷	東北地方整備局 仙台河川国道事務所
	3.6					2,857						
	3.0 +	45	日辺左岸	基礎地盤漏水 2		927			釜段工 月の輪工	名取橋		
	3.8 -	32				0						
	3.6		日辺左岸	越水 3		1,825			警戒巡視 避難誘導	名取橋		
	5.4					1,825						
	3.8 +	8	日辺左岸	基礎地盤漏水 4		400			釜段工 月の輪工	名取橋		
	4.4					0						
	4.4 +	55	日辺左岸	堤体漏水 5		173			月の輪工 木流し工	名取橋		
	4.6 +	120				0						
	5.6		郡山左岸	越水 6		735			警戒巡視 避難誘導	名取橋		
	6.2					735						
	6.2		郡山左岸	越水 7		690			警戒巡視 避難誘導	名取橋		
	7.0					690						
6.4 +	100	郡山左岸	堤体漏水 8		235			月の輪工 木流し工	名取橋			
6.8					0							
6.8		郡山左岸	工作物 9				1	釜段工 月の輪工	名取橋			
7.0 +	51	郡山左岸	堤体漏水 10		368			月の輪工 木流し工	名取橋			
7.4					49							
7.0 +	100	郡山左岸	越水 11		919			警戒巡視 避難誘導	名取橋			
7.8 +	100				919							
8.0		郡山左岸	越水 12		180			警戒巡視 避難誘導	名取橋			
8.2					180							
8.6 +	50	富田左岸	基礎地盤漏水 13		340			釜段工 月の輪工	名取橋			
9.0 +	60				340							
11.1		富田左岸	基礎地盤漏水 14		300			釜段工 月の輪工	名取橋			
11.4					300							

## 重要水防箇所別調書

(東北地方整備局)

河川名	距離標 令和8年度	地区名 及び 左右岸別	評定種別 及び 図面番号	令和8年度評定				対策水防 工 法 名	水防警報 対象 観測所	担 当 分 団	指 導 官 所
				堤防(m)		工作物(箇所)					
				A	B	A	B				
名 取 川	0.8 + 150 3.4	閑上(上) 右岸	越水 15		2,442 2,442			警戒巡視 避難誘導	閑上第二 名取橋	閑上 東中田	東 北 地 方 整 備 局 仙 台 河 川 国 道 事 務 所
	2.6 + 55 3.0	閑上(上) 右岸	基礎地盤漏水 16		340 0			釜段工 月の輪工	名取橋	名取市 閑上	
	2.8 + 40 2.8 + 151	閑上(上) 右岸	堤体漏水 17		111 0			月の輪工 木流し工	名取橋		
	3.6 4.0	中田 右岸	越水 18		325 325			警戒巡視 避難誘導	名取橋	東中田	
	6.0 6.6	中田 右岸	越水 19		597 597			警戒巡視 避難誘導	名取橋		
	6.4 + 36 6.6 + 89	中田 右岸	基礎地盤漏水 20		249 89			釜段工 月の輪工	名取橋	東中田	
	6.6 + 180 6.8 + 190	中田 右岸	堤体漏水 21		210 210			月の輪工 木流し工	名取橋		
	6.8 7.0 + 180	中田 右岸	基礎地盤漏水 22		380 60			釜段工 月の輪工	名取橋	東中田	
	7.0 + 50 7.2 + 100	中田 右岸	越水 23		274 274			警戒巡視 避難誘導	名取橋		
	7.2 + 100 7.6 + 44	中田 右岸	基礎地盤漏水 24		344 44			釜段工 月の輪工	名取橋	中田	
	7.6 + 50 7.8	中田・上河原 右岸	越水 25		150 150			警戒巡視 避難誘導	名取橋		
	7.8 + 28 8.2 + 94	上河原 右岸	基礎地盤漏水 26		466 172			釜段工 月の輪工	名取橋	中田	
	8.0 8.3	上河原 右岸	堤体漏水 27		300 300			月の輪工 木流し工	名取橋		
	10.8 11.4 + 180	熊野堂 右岸	基礎地盤漏水 28		760 760			釜段工 月の輪工	名取橋	名取市 高館	
	11.6 12.0	熊野堂 右岸	越水 29		500 500			警戒巡視 避難誘導	名取橋		

## 重要水防箇所別調書

(東北地方整備局)

河川名	距離標 令和8年度	地区名 及び 左右岸別	評定種別 及び 図面番号	令和8年度評定				対策水防 工法名	水防警報 対象 観測所	担当 分団	指導官所
				堤防(m)		工作物(箇所)					
				A	B	A	B				
広瀬川	0.0 1.0 + 100	若林 左岸	越水 30		1,041 1,041			警戒巡視 避難誘導	広瀬橋	六郷	東北地方 整備局 仙台河川 国道事務 所
	0.6 0.8 + 40	若林 左岸	堤体漏水 31		220 0			月の輪工 木流し工	広瀬橋		
	2.0 + 100 3.2 + 150	若林 左岸	基礎地盤漏水 32		1,190 1,190			釜段工 月の輪工	広瀬橋	南材	
	2.2 + 9	若林 左岸	工作物 33			1		釜段工 月の輪工	広瀬橋		
	2.6 + 61	若林 左岸	工作物 34			1		釜段工 月の輪工	広瀬橋		
	3.4 + 50 3.6 + 100	若林 左岸	越水 35		90 90			警戒巡視 避難誘導	広瀬橋		
	0.2 0.6	長町 右岸	越水 36		402 402			警戒巡視・避難誘導 堰板工	広瀬橋	郡山	
	3.6 3.6 + 100	長町 右岸	越水 37		100 100			警戒巡視 避難誘導	広瀬橋		

## 重要水防要注意区間調書

(東北地方整備局)

河川名	距離標		地区名及び左右岸別	評定種別及び図面番号	令和8年度評定			対策水防工法名	水防警報対象観測所	担当分団	指導官所
					工事施工(箇所)	新堤防旧川跡(m)	陸閘(箇所)				
名取川	1.2 +	30	日辺左岸	破堤箇所要1		—		シート張工 木流し工	名取橋	六郷	東北地方整備局 仙台河川国道事務所
	1.4 +	10	日辺左岸	破堤箇所要2		—		シート張工 木流し工	名取橋		
	3.0 +	60	日辺左岸	破堤箇所要3		—		シート張工 木流し工	名取橋		
	6.2 +	30	郡山左岸	旧川跡要4		110		釜段工 月の輪工	名取橋	郡山	
	6.2 +	140	郡山左岸	旧川跡要5		90		釜段工 月の輪工	名取橋	長町	
	7.8 +	50	郡山左岸	旧川跡要6		90		釜段工 月の輪工	名取橋		
	8.0		郡山左岸	旧川跡要7		10		釜段工 月の輪工	名取橋		
	8.0 +	10	郡山左岸	旧川跡要8		10		釜段工 月の輪工	名取橋	名取市 関上	
	8.6 +	50	富田左岸	旧川跡要9		135		釜段工 月の輪工	名取橋		
	8.8		富田左岸	旧川跡要10		135		釜段工 月の輪工	名取橋		
	2.4		関上(上)右岸	破堤箇所要11		—		シート張工 木流し工	名取橋	中田	
	2.8 +	40	関上(上)右岸	破堤箇所要12		—		釜段工 月の輪工	名取橋		
	3.0		関上(上)右岸	破堤箇所要13		—		シート張工 木流し工	名取橋		
	2.8 +	90	関上(上)右岸	破堤箇所要14		—		シート張工 木流し工	名取橋	名取市 高館	
	7.8 +	130	上河原右岸	旧川跡要15		220		釜段工 月の輪工	名取橋		
	8.0 +	140	上河原右岸	旧川跡要16		220		釜段工 月の輪工	名取橋		
	9.4		関上(上)・中田右岸	旧川跡要17		160		釜段工 月の輪工	名取橋	名取市 高館	
	9.4 +	160	関上(上)・中田右岸	旧川跡要18		160		釜段工 月の輪工	名取橋		
	10.2 +	110	熊野堂右岸	旧川跡要19		280		釜段工 月の輪工	名取橋		
10.6		熊野堂右岸	旧川跡要20		280		釜段工 月の輪工	名取橋	六郷		
1.0 +	180	若林左岸	旧川跡要21		150		釜段工 月の輪工	広瀬橋			
1.2 +	70	若林左岸	旧川跡要22		150		釜段工 月の輪工	広瀬橋			
1.4 +	110	若林左岸	旧川跡要23		80		釜段工 月の輪工	広瀬橋			
1.4 +	190	若林左岸	旧川跡要24		80		釜段工 月の輪工	広瀬橋			
1.8 +	90	若林左岸	旧川跡要25		90		釜段工 月の輪工	広瀬橋			
2.0 +	40	若林左岸	旧川跡要26		90		釜段工 月の輪工	広瀬橋			
2.4 +	140	若林左岸	旧川跡要27		120		釜段工 月の輪工	広瀬橋	南材		
2.6 +	70	若林左岸	旧川跡要28		120		釜段工 月の輪工	広瀬橋			
3.5 +	70	若林左岸	陸閘要29			1	積土のう工 堰板工	広瀬橋	郡山		
3.5 +	100	長町右岸	陸閘要30			1	積土のう工 堰板工	広瀬橋			

### 《参考:特定区間》

河川名	距離標	地区名及び左右岸別	延長	図面番号	水防警報対象観測所	担当分団	指導官所
名取川	0.0k 12.0k	名取市関上右岸 名取市熊野堂右岸	12.00km	特1	名取橋 広瀬橋	中田・東中田	東北地方整備局 仙台河川国道事務所

# 重要水防箇所評定基準

(東北地方整備局)

種 別	重 要 度		要注意区間
	A 水防上最も重要な区間	B 水防上重要な区間	
越水 (溢水)	計画高水流量規模の洪水の水位（高潮区間の堤防にあつては計画高潮位）が現況の堤防高を越える箇所。	計画高水流量規模の洪水の水位（高潮区間の堤防にあつては計画高潮位）と現況の堤防高との差が堤防の計画余裕高に満たない箇所。	
堤体漏水	<p>堤防の機能に支障が生じる堤体の変状の履歴（被災状況が確認できるもの）があり、類似の変状が繰り返している箇所。</p> <p>堤体の土質、法勾配等からみて堤防の機能に支障が生じる堤体の変状の生じるおそれがあり、かつ堤防の機能に支障が生じる堤体の変状の履歴（被災状況が確認できるもの）がある箇所。</p> <p>水防団等と意見交換を行い、堤体漏水が生じる可能性が特に高いと考えられる箇所。</p>	<p>堤防の機能に支障が生じる堤体の変状の履歴（被災状況が確認できるもの）があり、安全が確認されていない箇所、又は堤防の機能に支障は生じていないが、進行性がある堤体の変状が集中している箇所。</p> <p>堤防の機能に支障が生じる堤体の変状の履歴（被災状況が確認できるもの）はないが、堤体の土質、法勾配等からみて堤防の機能に支障が生じる堤体の変状の生じるおそれがあると考えられる箇所。</p> <p>水防団等と意見交換を行い、堤体漏水が生じる可能性が高いと考えられる箇所。</p>	
基礎地盤漏水	<p>堤防の機能に支障が生じる基礎地盤漏水に関する変状の履歴（被災状況が確認できるもの）があり、類似の変状が繰り返している箇所。</p> <p>基礎地盤の土質等からみて堤防の機能に支障が生じる変状の生じるおそれがあり、かつ堤防の機能に支障が生じる基礎地盤漏水に関する変状の履歴（被災状況が確認できるもの）がある箇所。</p> <p>水防団等と意見交換を行い、基礎地盤漏水が生じる可能性が特に高いと考えられる箇所。</p>	<p>堤防の機能に支障が生じる基礎地盤漏水に関する変状の履歴（被災状況が確認できるもの）があり、安全が確認されていない箇所、又は堤防の機能に支障は生じていないが、進行性がある基礎地盤漏水に関する変状が集中している箇所。</p> <p>堤防の機能に支障が生じる基礎地盤漏水に関する変状の履歴（被災状況が確認できるもの）はないが、基礎地盤漏水の土質等からみて堤防の機能に支障が生じる変状の生じるおそれがあると考えられる箇所。</p> <p>水防団等と意見交換を行い、基礎地盤漏水が生じる可能性が高いと考えられる箇所。</p>	
水衝・洗掘	<p>水衝部にある堤防の前面の河床が深掘れしているが、その対策が未施工の箇所。</p> <p>橋台取り付け部やその他の工作物の突出箇所で、堤防護岸の根固め等が洗われ一部破損しているが、その対策が未施工の箇所。</p> <p>波浪による河岸の決壊等の危険に瀕した実績があるが、その対策が未施工の箇所。</p>	水衝部にある堤防の前面の河床が深掘れしならない程度に洗掘されているが、その対策が未施工の箇所。	
工作物	<p>河川管理施設等応急対策基準に基づく改善措置が必要な堰、橋梁、樋管その他の工作物の設置されている箇所。</p> <p>橋梁その他の河川横断工作物の桁下高等が計画高水流量規模の洪水の水位（高潮区間の堤防にあつては計画高潮位）以下となる箇所。</p>	橋梁その他の河川横断工作物の桁下高等と計画高水流量規模の洪水の水位（高潮区間の堤防にあつては計画高潮位）との差が堤防の計画余裕高に満たない箇所。	
工事施工			出水期間中に堤防を開削する工事箇所又は仮締切り等により本堤に影響を及ぼす箇所。
新堤防 ・破堤跡 ・旧川跡			新堤防で築造後3年以内の箇所。 破堤跡又は旧川跡の箇所。
陸 閘			陸閘が設置されている箇所。
特定区間			風水害発生時における内閣としての初動措置始動の基準となっている「破堤により甚大な被害が予想される河川」で内閣危機管理監が定めた区間。



## 重 要 水 防 箇 所

( 宮 城 県 )

番号	河川名	右岸 左岸別	指定地名	延長 (メートル) 又は 箇所数	種 別	区分	対象水防工法	担 当 分 団	指導 官署
4	名取川	左岸	茂庭字人来田	800	堤防高	B	積土のう工	生出	宮 城 県 仙 台 土 木 事 務 所
5	広瀬川	左岸	土樋	300	洗掘	B	捨て石工	片平	
6	〃	〃	米ヶ袋	450	堤防高	B	積土のう工		
7	〃	〃	花壇	300	堤防高	B	積土のう工		
8	〃	右岸	追廻	600	堤防高	B	積土のう工		
9	〃	左岸	大堀	600	堤防高	B	積土のう工	川前	
10	〃	右岸	越路	10	堤防高	B	積土のう工	八木山	
15	七北田川	左岸	市名坂	140	堤防高	B	積土のう工	市名坂	
16	梅田川	左岸 右岸	苦竹	200	堤防高	B	積土のう工	東仙台	
17	〃	左岸	原町五丁目	50	洗掘	B	捨て石工	原町	
18	〃	〃	〃	170	堤防高	B	積土のう工		
19	〃	〃	原町四丁目	90	堤防高	B	積土のう工		
20	〃	右岸	梅田町	150	堤防高	B	積土のう工	宮町	
21	〃	〃	台原一丁目	90	堤防高	B	積土のう工	小松島	
23	七北田川	左岸	白鳥	200	洗掘	B	捨て石工	港	
24	〃	〃	高砂二丁目	200	洗掘	B	捨て石工	高砂	
25	〃	〃	福室六丁目	200	水衝	B	木流し工		
26	〃	右岸	岩切畑中	880	水衝	B	木流し工	岩切	
27	〃	左岸	岩切西河原	100	水衝	B	木流し工		
33	北貞山運河	右岸	種次藤塚	4,500	堤防高	B	積土のう工	六郷	

※番号は、附属資料4-3 (1/2~2/2) の重要水防区域図にある河川名の番号に合わせている。

## 重要水防箇所評定基準〔河川〕

(宮城県)

種別	重要度		要注意区間
	A 水防上最も重要な区間	B 水防上重要な区間	
堤防高 (流下能力)	計画高水流量規模の洪水の水位(高潮区間の堤防にあつては計画高潮位)が現況の堤防高を越える箇所。 既往洪水流量(2～3年に1回程度)の水位が現況の堤防高を越え、度々氾濫の実績がある箇所。	計画高水流量規模の洪水の水位(高潮区間の堤防にあつては計画高潮位)と現況の堤防高との差が堤防の計画余裕高に満たない箇所。 既往洪水流量(2～3年に1回程度)の水位が現況の堤防高に比して若干堤防余裕高はあるが氾濫の実績もあり危険な箇所。	
堤防断面	現況の堤防断面あるいは天端幅が、計画の堤防断面あるいは計画の天端幅の2分の1未満の箇所。 一連の堤防のうち、堤防断面あるいは天端幅が上下流に比して2分の1未満の箇所。	現況の堤防断面あるいは天端幅が、計画の堤防断面あるいは計画の天端幅に対して不足しているが、それぞれ2分の1以上確保されている箇所。 一連の堤防のうち堤防断面あるいは天端幅が上下流に比して2分の1以上確保されているが3分の2に満たない箇所。	
法崩れ ・すべり ・沈下	法崩れ、すべり、沈下の実績があるが、その対策が未施工の箇所。	法崩れ、すべり、沈下の実績があるが、その対策が暫定施工の箇所。 法崩れ、すべり、沈下の実績はないが、堤体あるいは基礎地盤の土質、法勾配等からみて法崩れ、すべり、沈下が発生するおそれのある箇所で、所要の対策が未施工の箇所。	
漏水	漏水の履歴があるが、その対策が未施工の箇所。	漏水の履歴があり、その対策が暫定施工の箇所。 漏水の履歴はないが、破堤跡又は旧河川の堤防等で、漏水が発生するおそれがある箇所で、所要の対策が未施工の箇所。	
水衝・洗掘	水衝部にある堤防の前面の河床が深掘れしているがその対策が未施工の箇所。 橋台取り付け部やその他の工作物の突出箇所で、堤防護岸の根固め等が洗われ一部破損しているが、その対策が未施工の箇所。 波浪による河岸の決壊等の危険に瀕した実績があるが、その対策が未施工の箇所。	水衝部にある堤防の前面の河底が深掘れにならない程度に洗掘されているが、その対策が未施工の箇所。	
工作物	河川管理施設等応急対策基準に基づく改善措置が必要な堰、橋梁、樋管その他の工作物の設置されている箇所。 橋梁その他の河川横断工作物の桁下高等が計画高水流量規模の洪水の水位(高潮区間の堤防にあつては計画高潮位)以下となる箇所。	橋梁その他の河川横断工作物の桁下高等と計画高水流量規模の洪水の水位(高潮区間の堤防にあつては計画高潮位)との差が堤防の計画余裕高に満たない箇所。	
工事施工			出水期間中に堤防を開削する工事箇所又は仮締切り等により本堤に影響を及ぼす箇所。
新堤防 ・破堤跡 ・旧川跡			新堤防で築造後3年以内の箇所。 破堤跡又は旧川跡の箇所。
陸開			陸開が設置されている箇所。

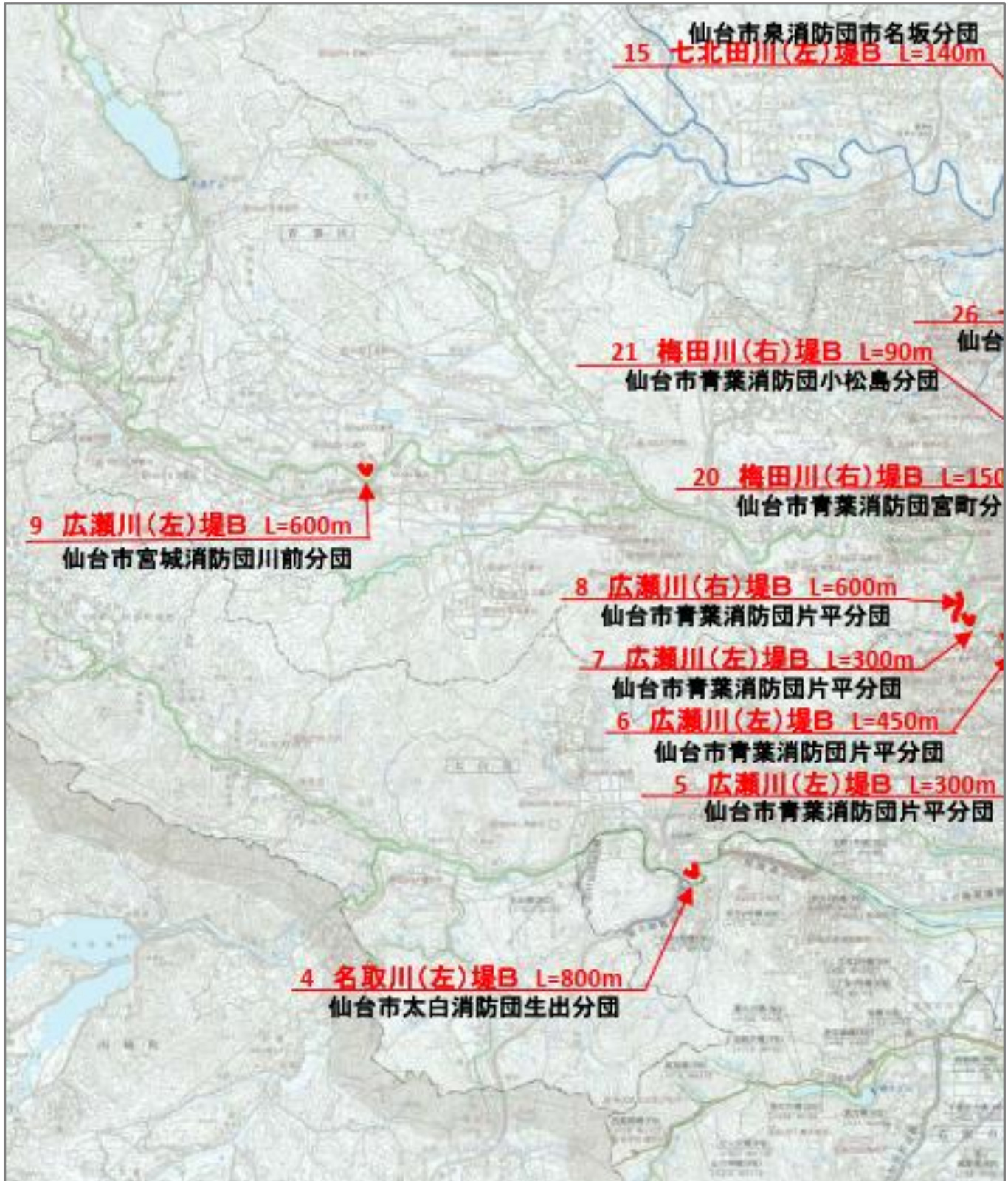
## 重要水防箇所評定基準〔海岸〕

(宮 城 県)

種 別	重 要 度		
	A 水防上最も重要な区間	B 次に重要な区間	C やや危険な区間
堤防高	既設堤防高が計画堤防高以下で背後地に公共施設及び人家が接している箇所。	堤防高は計画堤防高であるが、背後地に人家が多く特に注意を要する箇所。	
水 衝	護岸が破損している箇所、または、破損実績がある箇所。	護岸が不完全と考えられる箇所。	
洗 掘	堤脚または、護岸の根固めが洗掘している箇所。消波等が破損して危険が予想される箇所。	堤脚前面が洗掘の危険がある箇所。	

重要水防区域図

(宮城県所管)





## 準 重 要 水 防 区 域

( 仙 台 市 )

番号	河川名	区 域 から～まで	延 長 (メートル)	重 要 地 点	担当分団	連 絡 先
1	高野川両岸	燕 沢 住 宅 梅田川合流点	2,800	燕沢住宅付近 1,500m	岩 切 東 仙 台	仙台市建設局 河川課
2	井土浦川 両 岸	二郷堀分水点 貞山運河合流点	2,520		六 郷	仙台市建設局 河川課
3	貞山運河 両 岸	藤 塚 蒲 生	9,600	南丁 1～25 200m 南丁 147～75 100m	六郷・ 七郷・港	仙台土木事務所
4	二郷堀両岸	二 郷 堀 貞山運河合流点	900	二郷堀 100m下流樋門	六 郷 七 郷	仙台市経済局 農業土木課
5	二郷堀導水 路両岸	二郷堀分水点 貞山運河合流点	1,400	二郷堀導水路100m 下流排水機場	六 郷 七 郷	仙台市経済局 農業土木課
6	要害川両岸	市名坂天神沢 市名坂野蔵	2,000	市名坂字小柳 高玉町	市名坂 七北田	仙台土木事務所
7	広瀬川左岸	芋沢字新田 芋沢字大堀	200	西仙台病院東側	川 前	仙台土木事務所



水防資器材及び水防工具類の配置状況

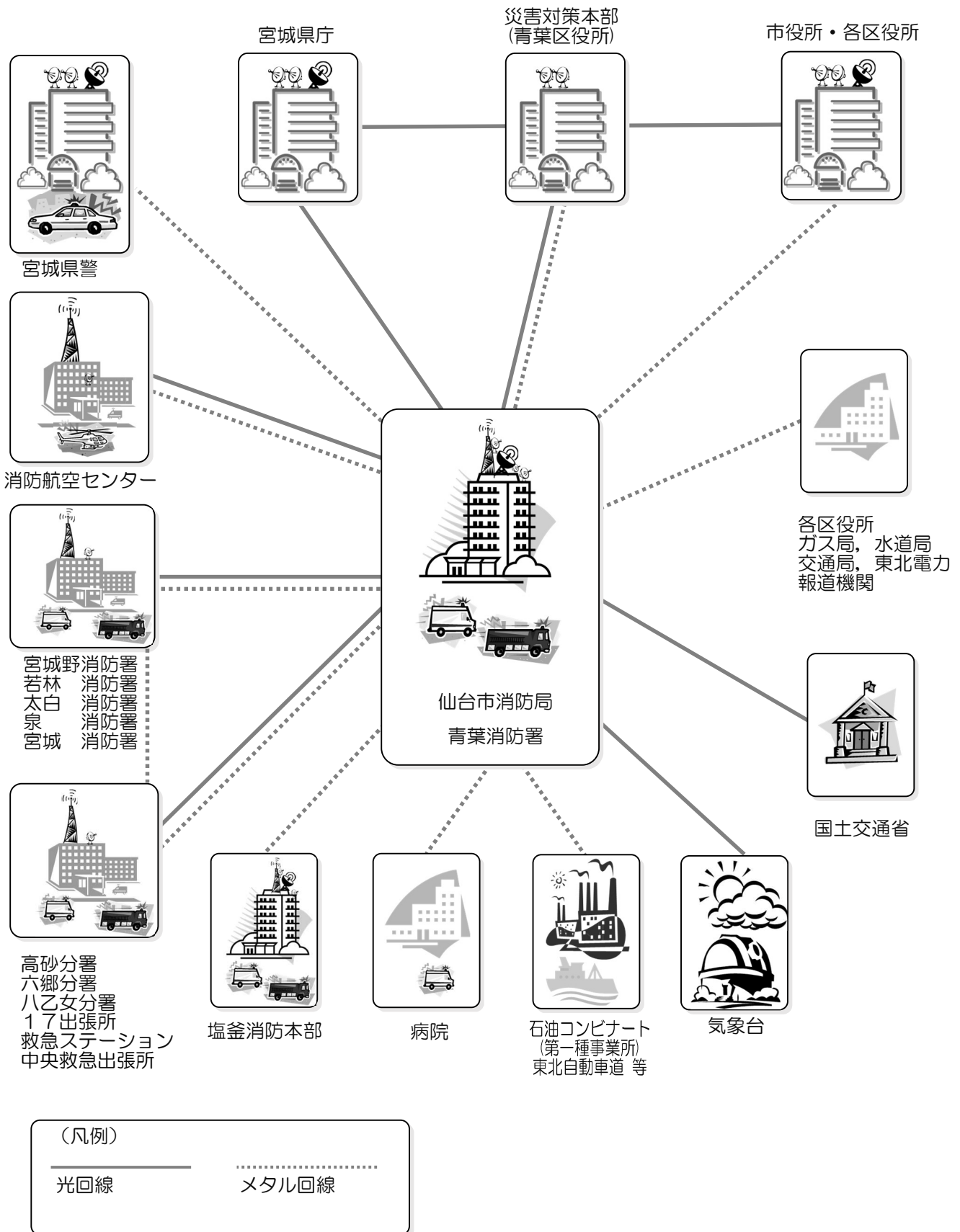
水防倉庫				水防備蓄資器材														
				土のう袋	ゲル土のう	防水シート	繩	荷ロープ		救助ロープ		トラロープ	焼番線 10kg/巻	鉄線 10kg/巻	木くい			鉄パイプ
								12mm	6mm	フロート	一般				2.7m	1.8m	0.9m	
署内	署所及び水防倉庫	河川	所在地	100枚	枚	枚	玉	巻	本	巻	巻	巻	本	本				
(単位)																		
青葉	本署			2	440	5	16				1	1	3		63			
	国見			3	39	6	7				3	1		4	20			
	片平			6	200	2	4				2	2						
	小松島			8	30	3	6				1	4			20			
	荒巻			4	74	5	2				2	3						
宮城	本署			25	160	85	24		2	1		3	6		100			
	高砂					40	4				1	6						
	高砂水防倉庫(都市)	—	高砂1丁目30-15	40	200	60	4				1	3			50			
	仙石水防倉庫	梅田川	仙石5-1	30		60	26	1	2			3	2	80	100			
	福田町水防倉庫	七北田川	福田町2丁目5-16	30		50			5	1		8			100			
	白鳥水防倉庫	七北田川	白鳥1丁目31-8	30		25	5	1			1	5	1	50	50			
	鶴巻水防倉庫	七北田川	鶴巻1丁目5-1	9		50	30	1	2			2		100	100			
	下岡田水防倉庫(都市)	—	岡田字北在家65-21	15	200	60				1			3		50			
	南蒲生水防倉庫		蒲生字前通13-1	15	74	100		1					3	90	50			
	岩切			30			1					3						
	岩切水防倉庫	七北田川	岩切字三所南1-4	30		50	12	1	10			10		1	6	34		
	若宮水防倉庫	七北田川	岩切字若宮前38-2	20		60	43		6			9			50			
	畑中水防倉庫	七北田川	岩切字水分64-37	27		50			1			4		50	10	57		
	余目水防倉庫	七北田川	岩切字鴻ノ巣164-2	15		50	20	1	2		3	3			100			
鶴谷			9		50						3							
新田水防倉庫	梅田川	新田2丁目11-30	30		50	30	3	8			4	2	40	50				
原町			4	240	20	3					2	3						
若林	本署			20	230	40	15			2		5	5	7	64			
	六丁の目水防倉庫(都市)	—	六丁の目中町14-2	30	200	60			1	1		3	2		100			
	笹屋敷水防倉庫	貞山運河	荒井字笹屋敷157-6	30		30	5	1			1	5	2	90	50			
	六郷			20		20	4	1				4	4		19			
	六郷水防倉庫	—	今泉字久保田東32-65	30	200	50	5	1			1	5	2	90	50			
	種次水防倉庫	名取川	種次字中屋敷52	30		50	5	1			1	5	2	90	50			
	三本塚水防倉庫	貞山運河	三本塚字権太49-2	30		50	5	1			1	5	2	90	50			
	日辺水防倉庫	名取川	日辺字田中1	8		65	29	3	15			1	4	1	60			
	今泉水防倉庫	名取川	今泉字上新田103	34		53	28	1	19	1		3	1	100	50			
河原町			5	100	20	9					1	2	1					
河原町水防倉庫(都市)	—	河原町1丁目-2-1	15	200	43						1	3	1	50				
太白	本署			16	47	40	30				5	10	1		50			
	西多賀水防倉庫	木流郷・京川	富沢三丁目15-1	10		20			5	1		1						
	長町			15	200	15						1	3		50			
	長町水防倉庫(都市)	—	大野田五丁目5-1	30	200	70	4		1		1	3	1		25			
	郡山水防倉庫	広瀬川・名取川	郡山5丁目7-1	56		90	45	3	11			5	4	29	50			
	中田			6		10	6					3			40			
	中田水防倉庫	名取川	中田4丁目14-5	30		70	58	1	21		1	8	3		140			
	落合水防倉庫	名取川	四郎丸字大宮26-10	30		60	33	1	2			4	2	32	79	45		
	八木山			5		6	3					2	2		52			
	秋保			12		23	1					2	1		31			
茂庭			6		8	8			2		1	6	2	2	26			
人來田水防倉庫	名取川	茂庭字人來田中15-3	17		20					2	1							
泉	本署			8	160	49	10	1	2	26		2	2	2	101	65		
	八乙女			12	60	50	2			2		4	10					
	八乙女水防倉庫	七北田川	松森字沢目3-1	30		80	30	1	2			6	1	87	100			
	松陵			16		40	4		1			1	3		9			
	松森水防倉庫	七北田川	市名坂字油田1-2	30		79	21	1	3			2	4	2	100			
	高森			25		20	1					1	20		29			
根白石			5		15			2			3							
宮城	本署			6	80	12	22			1		1	1	5	9	28		
	熊ヶ根			4		10						1						
	上愛子水防倉庫	広瀬川	上愛子字大道35-1	11		70	29	1	3			3	4	2	100			
合計	57	水防倉庫数		1,014	3,334	2,219	649	27	127	38	5	69	225	49	33	1,080	122	2,477

		水防工具類																					
丸鉄棒	土留鋼板	杭打用キャップ	スコップ	くわ	つるはし	100ハンマー	ハンマー	おの	ノコギリ	かま	ベンチ	なた	手かぎ	かけや	シノ	水防用番線カッター	水防用防水ライト	一輪車	水防用ゴムボート	アルミボート	アルミボート	水防用救命胴衣	水防用浮環
本	枚	個	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	本	個	台	艇	艇	機	着	個
80	24	3	47	2	23	14		3	2	19		6		9	8	1	6	5	1			44	5
4		3	5		3	1	2		2	4	2	1			2	1		4				15	1
			8		7				2	8		1		1	2			1				25	1
30		2	6	1	1				1	5		1		1	2		1	1				5	1
			5		8		2		3	6	2	2		1	2	1		2				8	1
200	20	3	50	2	3	1			5	8	1	2		12	5	2	5	1	1	1	1	50	2
			25		6	6				3		1		1	1		4	1		2	2	33	2
55		2	10	3	5	3	1		1			5		3	1	1	1	1	1			22	1
100		2	20	5	5	3	2	5	5	5	5	5		5	2	1	2	2		1	1	20	1
40		5	10		5	5						5			1			2	1	1	1	5	2
50		2	20	5	5	1	5	5	5	5	5	5		5	1	1	2	2	1			15	1
100		2	20	5	5	1	5	5	5	5	5	5		6	1	2	2	2	1	1	1	10	2
50		2	10			3	2					5			2	1			1	1		5	2
50		2	30	5	5	8	7	5	5	5	5	10		5	7	3	2	2	1			5	1
			4		3	1				3		1				1		1				7	
35		2	19	7	7	1	5	6	9	6	6	6	5	6	2	1	2	1	1			12	1
50		2	20	5	5	1	5	6	7	6	6	5	3	7	1	1	2	2		1	1	10	1
45		2	20	5	5	1	5	5	5	5	5	5		6	1	1	2	2	1	1	1	10	1
100		2	20	5	5	1	5	5	5	5	5	5		6	2	1	2	2	1	1	1	10	1
		1	5		9	1	1		1	4		1		1	1		1	1				5	
50		2	21	5	5	5	4	6	7	5	5	5	10	7	1	1	3	2				8	1
			18		5	3				8	1	2		1	1	1	2	1				11	
70	100	7	32	7	8	2	4	11	6	25	1	4	3	8	2	3		3		1	1	50	1
110		2	20	5	3	1	2	5	5	5	5	5		7	2	1	2	1	1			5	1
50		2	20	5	5	5	5	5	5	5	5	5		6	5	2	2	2	1			5	1
10		4	10	6	3	1			4	2	1	3		3			2			1	1	24	
45		2	20	5	5	5	5	5	5	5	5	5		6	5	2	2	2	1			5	1
50		2	20	5	5	5	5	5	5	5	5	5		6	5	2	2	2	1			5	1
50		2	20	5	5	5	5	5	5	5	5	5		6	5	2	2	2	1			5	1
80		3	20	5	5	2	5	6	6	6	6	5		6	3	2	1	2		1	1	29	1
50		2	21	10	5	1	5	6	7	7	5	5	4	8	1	1	2	2	1	1	1	9	1
		3	20		5	5			2	2		1		2			4	2				6	2
50		2	10			3	2		1						1	1	4	1	1			5	1
65	79	4	46	5	11	5		6	6	8		3		4	8	2	2	4		1	1	38	6
			10			1	5	5	5	5	5	3	3		1	1	2	1				4	
42		2	10	1	4				3	4		2		2	1	1	1	1				7	
25		2	10			3	2								2	1	2	1	1	1		13	2
50		4	42	10	10	2	9		9	11	11	9	12	7	2	3	3	4				20	
			10	1	4				3	2		2		3	1	1	1	1				15	1
140		4	42	8	10	4	7	11	10	15	9	9	10	10	3	2	4	2	1	1	1	20	1
50		2	21	5	5	1	5	5	5	5	5	5		6	1	1	2	2	1			10	1
87		2	15		6	1	1		1	5	1	2		2	1	1		1				7	1
26		2	8	1	1				1	3		3		2	1	1		1				10	1
43		1	10	2	2	2		2	3	8	2	2	2	2	2	1	2	1				7	1
30			20	5	5	5	5		2	5		2			1		2	1				10	
380	170	19	84	8	13	3	11		11	25	4	2	2	12	4	6	3	5		1	1	62	6
		1	20	10	7	4	4		3	13	3	1		12	9	3	4	3	1		2	20	1
100		2	20	5	5	1	5	5	5	5	5	5		6	1	2	2	2	1	2		10	1
40		2	20	3	2	2	2	3	2	2	3	2		1	1	2	4	2				10	1
100		2	20	5	5	3	4	5	5	5	5	5		6	2	1	2	2				6	
14		2	21	5	6	1	1	2	5	5	2	5		1	5	1	2	1				5	1
		2	22	5	5	2	1		4	5	1			1	4	1		1	1			18	1
60	41	3	25	6	6	5	1	3	6	14	1	6		8	4	1	2	2	1	1	1	53	9
7		1	5	5	3	1	1	1	5	3	1	3		1	1			2				11	5
100		2	20	5	4	3	2	5	5	5	5	5		5	2	1	2	2				6	
2,963	434	129	1,107	202	288	144	155	152	220	335	154	203	54	232	132	70	104	100	25	20	19	845	78

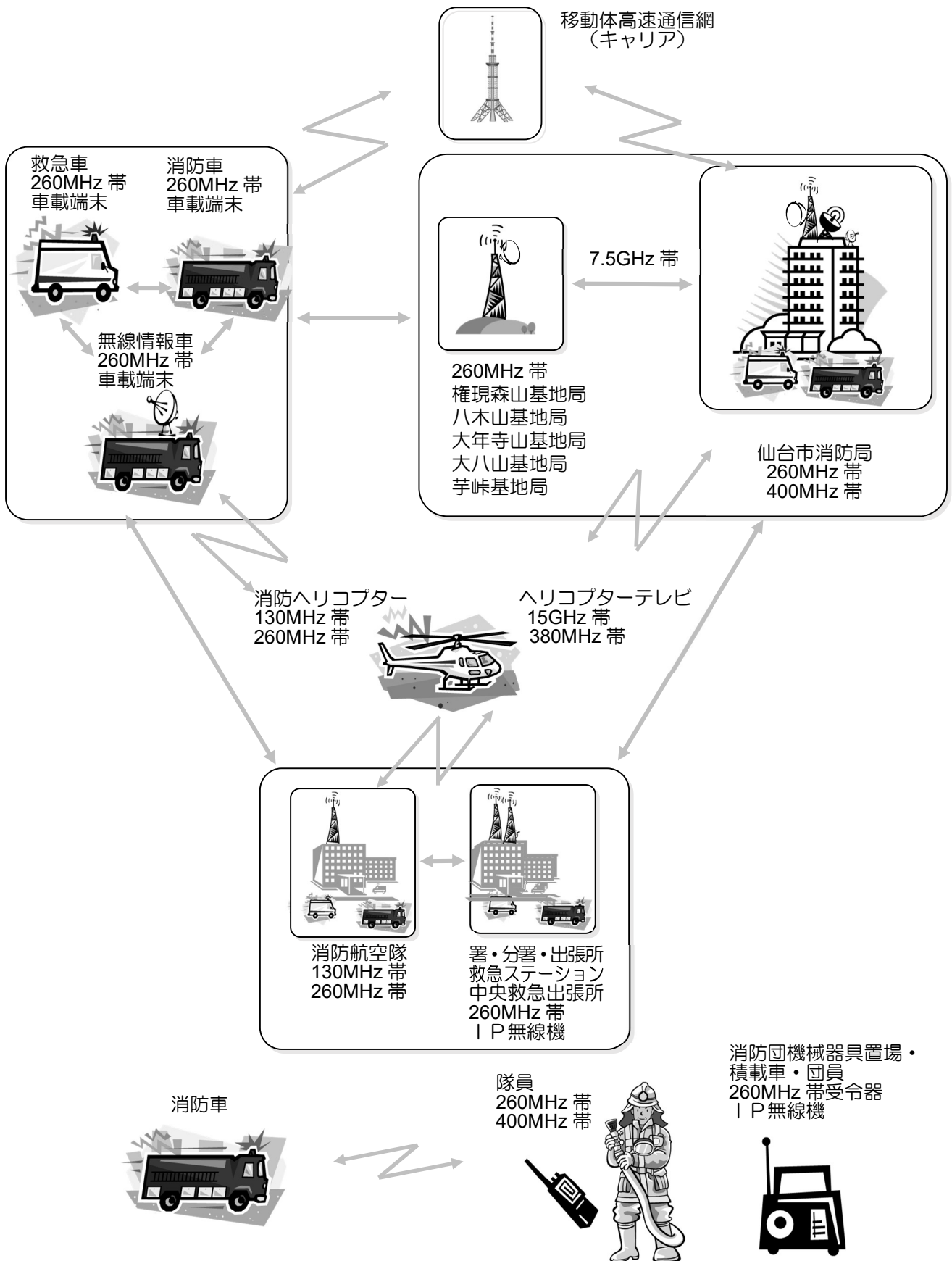
# 消防機関の通信系統

(令和8年4月1日現在)

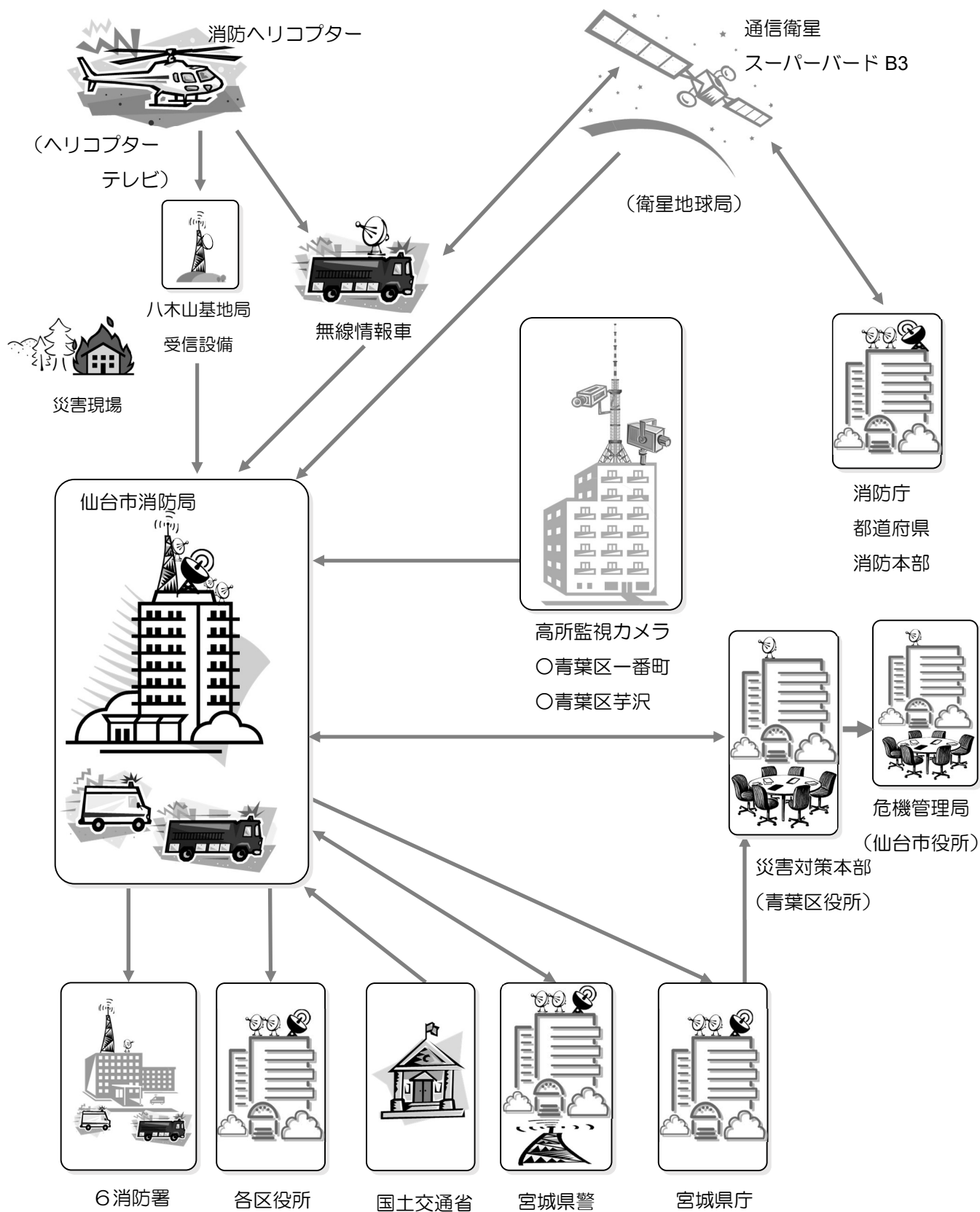
(1) 有線系統図



(2) 無線系統図



(3) 映像伝送システム系統図



# 仙台市防災行政無線全市移動系配置表

基地局  
(青葉区役所災害情報センター)  
ぼうさいせんだい

呼出名称	出力	
せんだいぼうさい	5W	* 防災相互通信波対応
せんだいぼうさい	5W	* 防災相互通信波対応
せんだいぼうさい	5W	* 防災相互通信波対応
せんだいぼうさい	5W	* 防災相互通信波対応
せんだいぼうさい	5W	* 防災相互通信波対応
せんだいぼうさい	5W	* 防災相互通信波対応
せんだいぼうさい	5W	* 防災相互通信波対応
せんだいぼうさい	5W	* 防災相互通信波対応
せんだいぼうさい	5W	* 防災相互通信波対応
せんだいぼうさい	5W	* 防災相互通信波対応
せんだいぼうさい	5W	* 防災相互通信波対応
せんだいぼうさい	5W	* 防災相互通信波対応
せんだいぼうさい	5W	* 防災相互通信波対応
せんだいぼうさい	5W	* 防災相互通信波対応
せんだいぼうさい	5W	* 防災相互通信波対応
せんだいぼうさい	5W	* 防災相互通信波対応
せんだいぼうさい	5W	* 防災相互通信波対応
せんだいぼうさい	5W	* 防災相互通信波対応
せんだいぼうさい	5W	* 防災相互通信波対応
せんだいぼうさい	5W	* 防災相互通信波対応
せんだいぼうさい	5W	* 防災相互通信波対応
せんだいぼうさい	5W	* 防災相互通信波対応

基地局	1局 (5W)
陸上移動局 (携帯型)	20局 (5W)
合計	21局

仙台市防災行政用無線 I P 系配置表

配置場所	無線番号	配置場所	無線番号
指定避難所	001～195	議会事務局	574
補助避難所	196～328	監査事務局	769
福祉避難所	329～432 746～749 801～836 857 860～879	選挙管理委員会	770
津波避難施設 津波避難ビル	433～443 445～451	人事委員会	771
帰宅困難施設	452～465 750～761 787～790 793～795 856 858 879	農業委員会	772
災害情報センター	466～483	水道局	575
総務局	484～486 491～493 498～500 796	交通局	576
危機管理局	444 487 494～497 797～800 859 880～926	ガス局	577
まちづくり政策局	501	市立病院	578
財政局	502	青葉区役所	579～602 773～774
市民局	503～504 853～855	宮城総合支所	603～613 775～776
健康福祉局	505～508	宮城野区役所	614～636 777～778
子ども若者局	509	若林区役所	637～660 779～780
環境局	510～514 838～852	太白区役所	661～684 781～782
経済局	515～519	秋保総合支所	685～694 783～784
文化観光局	520	泉区役所	695～724 785～786
都市整備局	521～527 791	災害時協力機関	725 731～736 743～745 762～765 792
建設局	528～551 766～768 837	防災関係機関	726～730
会計室	552	災害拠点病院	737～742
教育局	432 568～573		
消防局	488～490 553～567		

水防活動報告書様式

水防活動実施報告書

年 月 日

作成責任者

出水の概況	川 警戒水位 m 雨 量 mm								
水防実施箇所	川 左岸 地先 m 右岸								
日時	自 月 日 時 至 月 日 時								
出動人員	水防団員	消防団員	その他	合計					
	人	人	人	人					
水防作業の概況及び工法	箇所 m 工 法								
水防の結果	効果	堤防	田	畑	家	鉄道	道路	人口	その他
	被害	m	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	戸	m	m	人	
使用資器材	かます、俵					居住者の			
	万年、土俵					出動状況			
	なわ					水防関係者の			
	丸太					死 傷			
	その他					雨量水位の			
水防活動に関する 自己批判 備考									

(注) 水防を行った箇所ごとに作成すること。

平成27年台風〇号における水防活動  
(〇〇県〇〇市消防団・平成27年8月〇日～〇日)

〇概要

〇〇市消防団は、平成27年8月〇日、台風〇号の影響に伴う集中豪雨に際し、延べ〇部隊〇名が出動。市内では、1時間雨量100mmを超える豪雨により河川が増水。各地で越水により床上浸水等の被害を受ける危険な状況の中、堤防への土のう積みや住民の避難誘導、人命救助を行い人的被害の軽減のため活動した。

活動時間	出動延人数	主な活動内容
8/〇～8/〇 約12時間	〇名	<ul style="list-style-type: none"> <li>-土のう積み(300袋)</li> <li>-避難誘導(20世帯)</li> <li>-排水作業(3件)</li> </ul>

水防活動または  
被害状況写真

〇〇川左岸(〇〇地先)  
堤防巡視

水防活動または  
被害状況写真

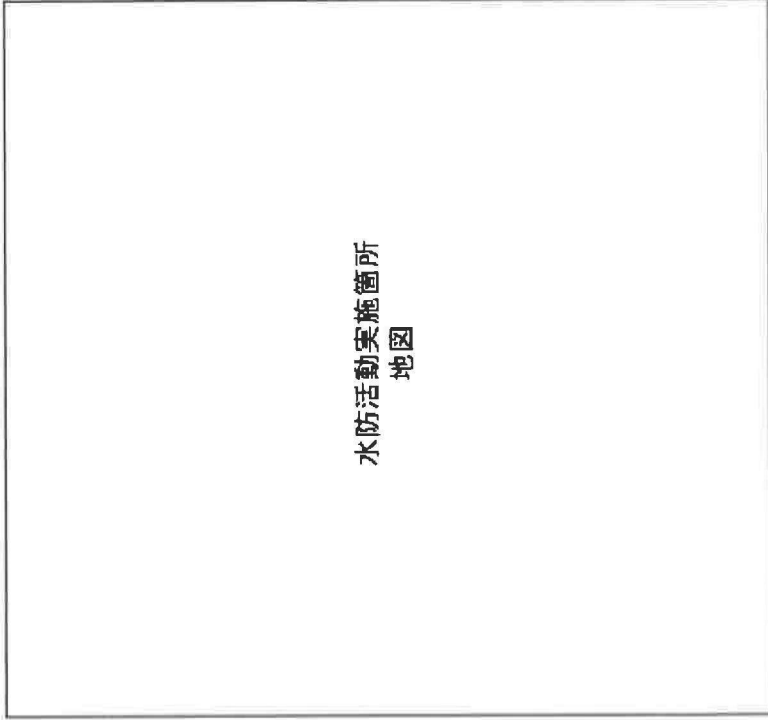
〇〇川左岸(〇〇地先)  
積み土のう工

水防活動または  
被害状況写真

〇〇川右岸(〇〇地先)  
月の輪工

水防活動または  
被害状況写真

〇〇地区の浸水被害



水防活動実施箇所  
地図

# 非常配備基準及び非常時における警防本部等運営要領（抜粋）

（平成19年3月30日消防局長決裁）

## 第1章 総則

（趣旨）

第1 この要領は、仙台市消防活動基本規程（平成13年3月28日仙台市消防局訓令第5号。以下「規程」という。）第64条に規定する非常配備時の報告及び仙台市消防活動基本規程実施要綱（平成19年3月27日消防局長決裁。以下「要綱」という。）で規定する、第3条第3項警防本部の運営等、要綱第5条第1項署隊本部の運営等、要綱第58条第2項警防態勢強化発令時の配備人員、隊編成等の基準等並びに要綱第60条非常配備の基準等に関し必要な事項を定めるものとする。

第2～第10省略

## 第4章 非常配備

（非常配備の発令基準等）

第11 非常配備等の発令基準は、別表第5-1に定めるとおりとする。なお、弾道ミサイル発射時の対応は、別表5-2に定めるとおりとする。ただし、災害の発生状況等により発令した者が必要と認めた場合は、解除又は区分を変更することができる。

2 警防態勢強化及び非常配備発令時の人員の基準は、別表第3に定めるとおりとする。ただし、消防局は警防本部長又は警防副本部長、消防署は警防本部長、警防副本部長又は署隊本部長が必要と認めた場合は、配置人員を増減することができる。

（非常配備発令時の活動態勢）

第12 署隊本部長は、非常配備が発令された場合、別表第6のとおり、要綱第59条に規定する非常配備の種別に応じた隊編成を行い、活動態勢を整えるものとする。

以下省略

## 非常配備等人員の基準

全計	体制レベル	通常	警防態勢強化		非常配備		
			第一警防態勢	第二警防態勢	一次	二次	特別
	総数(名)	281	284	319	471	690	
消防局	総数(名)	28	31	36	76	116	
	警防本部	11	14	19	54	80	
	消防航空隊	5	5	5	8	14(9)	
	救急指導課指導係(ST)	3	3	3	4	8	
	救急指導課対策係(中央)	9(6)	9(6)	9(6)	10(7)	14	
青葉署	総数(名)	51	51	56	79	109	
	本署	23(20)	23(20)	28(25)	39(36)	50	
	片平	10	10	10	13	20	
	国見	7	7	7	10	14	
	荒巻	7	7	7	10	14	
	小松島	4	4	4	7	11	
宮城野署	総数(名)	47	47	52	72	105	
	本署	17	17	22	30	45	
	高砂	9	9	9	12	18	
	鶴谷	7	7	7	10	14	
	岩切	7	7	7	10	14	
	原町	7	7	7	10	14	
若林署	総数(名)	38	38	43	59	87	
	本署	17	17	22	30	45	
	河原町	9	9	9	12	16	
	六郷	7	7	7	10	14	
	特別機動救助隊	5	5	5	7	12	
太白署	総数(名)	49	49	54	77	112	
	本署	17	17	22	30	45	
	長町	7	7	7	10	14	
	中田	7	7	7	10	14	
	八木山	7	7	7	10	14	
	秋保	7	7	7	10	14	
	茂庭	4	4	4	7	11	
泉署	総数(名)	44	44	49	71	107	
	本署	17	17	22	30	45	
	八乙女	7	7	7	10	14	
	特別機動救助隊	5	5	5	7	12	
	松陵	4	4	4	7	11	
	高森	4	4	4	7	11	
	根白石	7	7	7	10	14	
宮城署	総数(名)	24	24	29	37	54	
	本署	17	17	22	27	40	
	熊ヶ根	7	7	7	10	14	

全職員

※1 派遣職員、救命士研修所入校職員及び消防学校初任総合教育入校職員を除いた人員。

※2 総務部の市長部局併任者は除く。

※3 警防態勢強化(第二警防態勢)の招集は、各署管理職又は代行者1名以上を含む。

※4 消防航空隊( )書きについては、航空機1機体制時の人員。なお、消防航空班の人員については、消防航空隊に含む。

※5 中央救急出張所( )書きについては、中央第3救急小隊を除く人員。

※6 青葉署本署( )書きについては、青葉第3救急小隊を除く人員。

※7 救急ステーション実習職員は、特別配備の場合、必要に応じて所属署所に参集する。

※8 消防局は警防本部長又は警防副本部長、消防署は署隊長本部長が必要と認めた場合は、配置人員を増減することができる。

## 非常配備等の発令基準

非常配備等の発令基準については下表のとおりとし、配備等の種別や区分に応じた体制により、災害対応を実施するものとする。

- 1 「警防準備体制」・・・警防準備と連絡体制を確保し、災害情報の収集等にあたる体制
- 2 「警防態勢強化『第一警防態勢』」・・・必要に応じ、警防本部及び署隊本部に初動対応班を設置する体制
- 3 「警防態勢強化『第二警防態勢』」・・・警防本部及び署隊本部に初動対応班を設置する体制
- 4 「一次配備」・・・災害の状況に応じた応急対策活動を実施し、速やかに上位の体制に移行し得る体制
- 5 「二次配備」・・・一次配備の体制をさらに強化し、災害の状況に応じた応急活動を実施する体制
- 6 「特別配備」・・・全職員を招集し、組織の総力を挙げて総合的な応急対策活動を実施する体制

## ○水防非常配備

配備等の種別・区分		事象等	備考
警防態勢強化	第一警防態勢	国土交通大臣が行う水防警報「待機」が発表されたとき。	消防局及び対象となる河川を管轄する消防署に限る。
	第二警防態勢	国土交通大臣又は宮城県知事が行う水防警報「準備」が発表されたとき。	消防局及び対象となる河川を管轄する消防署に限る。
水防非常配備	一次配備	国土交通大臣又は宮城県知事が行う水防警報「出動」が発表されたとき。	消防局及び対象となる河川を管轄する消防署に限る。
	二次配備		

※消防航空隊、救急指導課(ST、中央)は除く

## ○異常気象非常配備

配備等の種別・区分		事象等	備考
警防態勢強化	第一警防態勢	1 市域において気象に関する警報等が発表され、災害の発生が予想される時。 2	
	第二警防態勢	1 市域において、気象に関する警報等が発表され、災害の多発が予想される時。 2 市域において「土砂災害警戒情報」が発表されたとき。	
異常気象配備	一次配備	市域において、河川はん濫や土砂災害等に関する「高齢者等避難」が発令されたとき。	左欄については、消防局及び発令町丁目を管轄する消防署に限る。
	二次配備	市域において、河川はん濫や土砂災害等に関する「避難指示」が発令されたとき。	左欄については、消防局及び発令町丁目を管轄する消防署に限る。
	特別配備	1 市域において、河川はん濫や土砂災害等に関する「緊急安全確保」が発令され、災害が市域に広範囲で発生したとき。 2 気象特別警報が発表され、災害が市域に広範囲で発生したとき。	全職員を招集

## ○津波非常配備

配備等の種別・区分		事象等	備考
津波非常配備	一次配備	宮城県に津波注意報が発表されたとき。 (災害警戒本部体制・警戒配備)	左欄については、消防局及び海岸部・河口部を管轄する消防署に限る。
	二次配備	宮城県に津波警報が発表されたとき。 (災害対策本部体制・非常1号配備)	
	特別配備	宮城県に大津波警報が発表されたとき。 (災害対策本部体制・非常2号配備)	全職員を招集

○地震非常配備

配備等の種別・区分		事象等	備考
警 防 強 化 態 勢	第一 警防態勢	「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されたとき。	
	第二 警防態勢		
地 震 非 常 配 備	一次配備	市域において震度5弱(仙台湾気象台発表)の地震を観測したとき。(災害警戒本部体制・警戒配備)	
	二次配備	市域において震度5強(仙台湾気象台発表)の地震を観測したとき。(災害対策本部体制・非常1号配備)	
	特別配備	市域において、震度6弱(仙台湾気象台発表)以上の地震を観測したとき。(災害対策本部体制・非常2号配備)	全職員を招集

○各配備共通・危機事象非常配備・その他非常配備

配備等の種別・区分		事象等	備考
警防準備体制		1 仙台市災害警戒本部運営要領等の規定に基づく「警戒準備体制」が指示されたとき。 2 その他警防副本部長又は署隊本部長が必要と認めるとき。	
警 防 態 勢 強 化	第一 警防態勢	1 連続放火火災が発生しているとき。 2 広域かつ長時間の水道断減水及び停電等のとき。 3 降雪及び積雪により消火栓等の確認が困難で除雪が必要なとき。 4 市域において「林野火災注意報(警報)」が発令されたとき。 5 その他警防副本部長又は署隊本部長が必要と認めるとき。	
	第二 警防態勢	1 仙台市消防応援計画に基づく緊急消防援助隊等の派遣が決定されたとき。 2 その他警防副本部長又は署隊本部長が必要と認めるとき。	左欄1について、派遣職員については当該計画に基づき、各所属において必要人員を招集する。
非 常 配 備	一次配備	警防副本部長が必要と認めるとき。	
	二次配備	警防本部長(消防局長)が必要と認めるとき。	
	特別配備	1 仙台市災害対策本部や仙台市危機対策本部等が設置され、非常2号配備が発令されたとき。 2 その他、重大な災害や危機事象が発生し、警防本部長(消防局長)が必要と認めたとき。	全職員を招集

※弾道ミサイル発射時の非常配備等の体制については、別表第5-2のとおりとする。

※各配備等については、災害の状況により発令者が認めた場合には、解除又は区分等を変更することができる。

## 非常配備発令に伴う活動態勢

署隊本部長は、非常配備が発令された場合、要綱第59条に規定する非常配備の種別に応じた隊編成を行い、活動態勢を整えるものとする。

非常配備の種別	活動態勢
水防非常配備	<p>1 警防態勢 救命胴衣等の水防活動に必要な資機材を車両に積載する。</p> <p>2 隊編成</p> <p>(1) 広報隊 避難情報の伝達に係る広報等を実施する場合、広報車等で編成し、主として管内の発令対象地区への広報活動に従事する。</p> <p>(2) 救命ボート隊 避難誘導及び救助等の水防活動に従事する。</p> <p>(3) 水防工法隊 主として水防工法等の活動に従事する。</p> <p>(4) 監視警戒隊 仙台市水防計画に基づき、主として水災発生のおそれのある箇所への巡視及び水位観測等の監視警戒に従事する。</p> <p>(5) 資機材搬送隊 必要に応じて編成し、水防資機材等の搬送に従事する。</p> <p>(6) 人員輸送隊 必要に応じて編成し、水防工法隊の隊員輸送に従事する。</p> <p>(7) 本部情報隊 必要に応じて警防部指令課で編成し、主として無線情報車で災害現場における指揮本部の指揮支援及び情報収集等に従事する。</p>
異常気象非常配備	<p>1 警防態勢 必要に応じて、ホース及び風水害等の対応資機材を増強し配備する。</p> <p>2 隊編成</p> <p>(1) 広報隊 管内の被害状況の把握及び避難情報の伝達に係る広報等を実施する場合、広報車等で編成し、必要な巡回及び広報活動に従事する。</p> <p>(2) ポンプ車等の増隊 必要に応じて、ポンプ車等の増隊を図る。</p> <p>(3) 情報支援隊 必要に応じて指令班で編成し、主として無線情報車で災害現場における指揮本部の指揮支援活動に従事する。</p>
津波非常配備	<p>1 警防態勢 救命胴衣及び検索救助活動に必要な資機材を車両に積載する。(津波警報及び大津波警報発表時)</p> <p>2 隊編成</p> <p>(1) 避難広報隊 津波警報等の発表により広報車等で編成し、津波警報発表時における避難広報等活動要領及び宮城野、若林署及び太白消防署避難広報等活動要領により、避難広報活動に従事する。</p> <p>(2) 消防航空隊 航空機により海面変動の監視、避難広報活動、情報収集活動及び救助活動に従事する。</p> <p>(3) 検索救助隊 ポンプ車等で編成し、浸水被害エリアにおける検索救助活動に従事する。</p> <p>(4) 情報支援隊 必要に応じて警防部指令課で編成し、主として無線情報車で災害現場における情報収集等に従事する。</p>
地震非常配備	規程第45条の規定に基づく大規模地震災害消防活動要領によるものとする。
危機事象非常配備	規程第65条の規定に基づく仙台市国民保護計画、仙台市危機管理指針及び仙台市危機管理に関する要綱によるものとする。
その他非常配備	その他必要に応じた活動態勢とする。

## 消防団の非常配備基準及び非常配備時における活動要領（抜粋）

（令和2年6月3日 消防局長決裁）

（趣旨）

第1条 この要領は、消防団の非常配備の基準、招集人員及び活動態勢等に関し必要な事項を定める。

（非常配備の発令）

第3条 仙台市消防活動基本規程第4条に規定する警防本部長又は警防副本部長は、気象状況等により被害が発生し、又は発生するおそれがある場合は、消防団に非常配備を発令することができるものとする。

2 非常配備の種別は、次のとおりとする。

- (1) 水防非常配備
- (2) 津波非常配備
- (3) 異常気象非常配備
- (4) 地震非常配備
- (5) その他非常配備

3 消防団の非常配備は、気象又は災害の状況に応じ、一次配備、二次配備、特別配備に区分する。

4 非常配備は、消防団又は消防団の消防活動に関する要綱第4条に定める消防団隊を指定して、発令又は解除することができる。

5 仙台市消防職員及び消防団員招集規程第5条第1号に規定する非常招集は、非常配備の発令をもって命令がされたものとみなす。

6 なお、非常配備に至らない状況においても、災害対応に係る準備等が必要な場合は、「活動態勢強化」を発令し、非常配備に準じた対応とするものとする。

（非常配備等の発令基準）

第4条 消防団の非常配備等の発令基準は、別紙1に定めるとおりとする。

（非常配備の招集人員、活動態勢等）

（招集計画の策定）

第5条 消防団本部長は、非常配備等の発令に備え、予め招集計画を策定するものとする。

なお、異常気象非常配備に関しては、発令内容（土砂災害発生危険、河川氾濫に伴う浸水危険、ため池決壊に伴う浸水危険など）や消防団隊が管轄する地域特性等を考慮した計画を策定するものとする。（非常配備等の招集人員、活動態勢等）

第6条 消防団の非常配備等の招集人員、活動態勢等は別紙2に定めるとおりとする。ただし、署隊長本部長は、前条の規定に基づき異常気象非常配備の発令内容に応じ消防団隊を指定して招集することができる。

2 水防非常配備及び津波非常配備の場合の招集人員及び活動態勢は、それぞれ別紙3及び別紙4に定めるとおりとする。

3 署隊長本部長は、災害の状況等により必要と認める場合は、消防団隊又は配備人員を

増減することができる。

4 署隊本部長は、前項の規定により、消防団隊及び配備人員を増減した場合は、警防本部長又は警防副本部長へ報告するものとする。

(大規模災害発生時等の消防団の任務)

第7条 火災及び水災、震災その他大規模な災害発生時の消防団の消防活動は、当要領に規定するほか、仙台市地域防災計画、仙台市水防計画及び消防活動基本規程の規定に従う。

別紙1 (第4条関係)

非常配備等の発令基準

配備種別	活動態勢強化	一次配備	二次配備	特別配備
水防 非常配備	○水防警報「準備」が発表された場合	○水防警報「出動」が発表された場合	—	—
異常気象 非常配備	○警防本部長又は警防副本部長が必要と認めた場合	○大雨、台風等の異常気象により市内に「避難指示」が発令された場合	○大雨、台風等の異常気象により市内に「避難指示」が発令された場合  ○大雨、台風等の異常気象により災害が発生するなどした場合	○大雨、台風等の異常気象により市内に「緊急安全確保」が発令され、かつ、市域に被害が発生する恐れがある場合  ○市内に気象特別警報が発表され、かつ、市域に被害が発生する恐れがある場合 ○大雨、台風等の異常気象により市域の広範囲に災害が発生するなどした場合  ○警防本部長又は警防副本部長が必要と認めた場合
		○大雨、台風等の異常気象により市内に自然災害が発生することが予想される場合  ○警防本部長又は警防副本部長が必要と認めた場合	○警防本部長又は警防副本部長が必要と認めた場合	○警防本部長又は警防副本部長が必要と認めた場合
管轄区域がこれらに該当する団に発令				
その他 非常配備	○警防本部長又は警防副本部長が必要と認めた場合	○警防本部長又は警防副本部長が必要と認めた場合	○警防本部長又は警防副本部長が必要と認めた場合	○警防本部長又は警防副本部長が必要と認めた場合
必要と認められる団に対して発令				

別紙3（第6条第2項関係）

非常配備等の招集人員（水防非常配備）

1 招集人員

「水防非常配備」招集人員は次による。

名取川に発表された場合		活動態勢強化 【水防警報（準備）】	一次配備 【水防警報（出動）】	備 考
若林消防団	団本部	2名	2名	「太白区山田字船渡前3番1地先から海までの区域」発表時
	六郷分団	8名	16名	
		2名	4名	
	七郷分団	2名	4名	
小 計		12名	22名	
太白消防団	団本部	2名	2名	「太白区山田字船渡前3番1地先から海までの区域」発表時
	長町分団	2名	4名	
	郡山分団	2名	4名	
	西多賀分団	2名	4名	
	中田分団	2名	4名	「太白区茂庭字人來田西から名取川頭首工までの区域」発表時
	東中田分団	2名	4名	
	生出分団	2名	4名	
	山田分団	2名	4名	
小 計		18名	34名	
合 計		30名	56名	

広瀬川に発表された場合		活動態勢強化 【水防警報（準備）】	一次配備 【水防警報（出動）】	備 考
若林消防団	団本部	2名	2名	
	南材分団	2名	4名	
	六郷分団	2名	4名	
小 計		6名	10名	
太白消防団	団本部	2名	2名	
	長町分団	2名	4名	
	郡山分団	2名	4名	
小 計		6名	10名	
合 計		12名	20名	

策川に発表された場合		活動態勢強化 【水防警報（準備）】	一次配備 【水防警報（出動）】	備 考
太白消防団	団本部	2名	2名	
	西多賀分団	2名	4名	
	長町分団	2名	4名	
合 計		6名	10名	

旧策川に発表された場合		活動態勢強化 【水防警報（準備）】	一次配備 【水防警報（出動）】	備 考
太白消防団	団本部	2名	2名	
	西多賀分団	2名	4名	
	長町分団	2名	4名	
	郡山分団	2名	4名	
合 計		8名	14名	

七北田川に発表された場合		活動態勢強化 【水防警報（準備）】	一次配備 【水防警報（出動）】	備 考
宮城野消防団	団本部	2名	2名	「赤生津大橋から海までの区域」発表時
	岩切分団	6名	28名	
	高砂分団	6名	20名	
	港分団	4名	8名	
	小 計		18名	58名
泉消防団	団本部	2名	2名	「馬橋から赤生津大橋までの区域」発表時
	根白石分団	2名	4名	
	小角分団	2名	4名	
	実沢分団	2名	4名	
	野村分団	2名	4名	
	上谷刈分団	2名	4名	「赤生津大橋から海までの区域」発表時
	七北田分団	2名	4名	
	市名坂分団	2名	4名	
	八乙女分団	2名	4名	
松森分団	2名	4名		
小 計		20名	38名	
合 計		38名	72名	

梅田川に発表された場合		活動態勢強化 【水防警報（準備）】	一次配備 【水防警報（出動）】	備 考
宮 城 野 消 防 団	団本部	2名	2名	
	原町分団		4名	
	東仙台分団	2名	4名	
	宮城野分団		4名	
	高砂分団	2名	8名	
合 計		6名	22名	

要領第6条第3項の規定に基づき、署隊本部長は、災害の状況等により必要と認める場合は、招集する消防団隊及び人員を増減することができる。また、この場合、署隊本部長は、要領第6条第4項の規定に基づき、その旨を警防本部長又は副本部長へ報告すること。

## 2 活動態勢

### (1) 招集時

参集した団員は、小型動力ポンプ付積載車及び資機材点検、消防団本部や担当署所と無線の通話試験を行い、その結果を消防団本部及び担当署所へ報告すること。

### (2) 水防警報「準備」発表時

所属団員との連絡体制の確保や管轄する水防倉庫の資材器具の整備点検等を行い、出場に備えること。

### (3) 水防警報「出動」発表時

ア 必要に応じて監視警戒隊を編成し、職員隊と協力して、仙台市水防計画に基づく重要水防区域、準重要水防区域及び消防団隊の担当する区域内の水位、潮位、水防施設物及び水災発生危険箇所等の状況把握のための監視警戒を行うこと。

イ 必要に応じて水防工法隊を編成し、水防工法に従事すること。

## 堤防決壊につながるおそれのある状況を発見するための監視のポイント

堤防の箇所	監視のポイント	対象となる変状		
		侵食	堤体すべり	漏水
表法面 ・ 堤防護岸	流況に異常はないか	○		
	堤防護岸の破損、法面の侵食等がないか	○		
天端	堤防天端及び法肩に亀裂、陥没等の変状はないか		○	○
裏法面 ・ 裏小段	裏法面・裏小段の亀裂、陥没、はらみ出し、法崩れはないか		○	○
	法面及び小段の泥濘化している箇所はないか		○	
裏法尻部	堤脚付近の堤体土が軟弱化し、流動化していないか			○
	法尻付近の漏水、噴砂はないか			○
	堤脚保護工の変形はないか		○	○
	ドレーン工やその近傍からの噴砂が生じていないか		○	
堤脚水路	堤脚水路の継目やその近傍からの噴砂が生じていないか			○
樋門等構造物周辺	上記までの項目に加え、 堤防と構造物との隙間から漏水が生じていないか	○	○	○

## 監視にあたっての留意点

### (1) 表法面、堤防護岸

流況に異常はないか。

#### 【留意点】

侵食現象は水面下で発生するため、目視することが困難であるが、洗堀や根固め工の破壊による河床の変形や、流水の作用に伴う護岸の破壊等が水面下で発生した場合、水面に異常が現れることがある。

したがって、上下流の水面形に比較して局所的な盛り上がり等がみられる場合には、これに着目して監視をする。

また、侵食破壊は水衝部で生じることが多い。洪水の流れを監視し、堤防に向かう流れの有無を確認することが重要であり、水衝部ののり面の状況や水面の異常を重点的に監視するとよい。



図 - 10 水際線の異常の例

堤防護岸の破損、のり面の侵食等がないか。

#### 【留意点】

堤防護岸の法覆工あるいは基礎工部分に破損等の変状が発生すると、そこから流水等によって護岸裏の土砂が吸い出され、進行すると護岸全体の破壊、堤防の侵食につながる。表のり面がわずかでも侵食されると、そこから一気に侵食が進み、破堤に至る場合がある。

水面下で生じる変状の発見につなげるためにも、水面上に残る堤防護岸の法覆工の変形、破損を注意深く監視することが重要である。

洪水末期に急激な水位低下が生じると残留水圧により堤体中の水が噴き出し、一緒に堤体材料が流出することがある。この時、表のり面の法崩れやすべりが発生することがあるので、次の洪水に備えて早急に対応することが大事である。

## (2) 天端

堤防天端及びのり肩に亀裂、陥没等の変状はないか。

### 【留意点】

天端の亀裂は、在来堤防に腹付けされた盛土により相対的な圧密沈下の差を生じることに起因して発生することが多い。このような亀裂は、既設堤防と腹付けされた盛土の境界部分に発生することが多く、圧密沈下の進行とともに長期的に拡大する現象であるため、堤防の安定性が急激に損なわれることは少ない。しかし、在来堤防の天端に亀裂が生じた場合には、浸透により堤防が緩み、堤体内にすべり面を生じていることもある。

天端が舗装されている場合は、緩みや空洞発生の予兆現象として亀甲状のクラックが出る等、発見が容易であるので、特にこれに注目して点検する。

のり肩のような地形急変部では、のり面の初期的なすべり等の変形に伴って亀裂、陥没等が発生しやすいので注意して点検する。

### (3) 裏のり面、裏小段

裏のり面・裏小段の亀裂、陥没、はらみ出し、法崩れはないか。

#### 【留意点】

##### 1) 亀裂

亀裂は、既存堤防と腹付けされた盛土の間に相対的な基礎地盤の圧密沈下量の差が生じることに起因して発生することが多い。このような亀裂は、既設堤防と腹付けされた盛土の境界部分に発生することが多く、圧密沈下の進行とともに長期的に拡大する現象であるため、堤防の安定性が急激に損なわれることは少ない。しかし、裏のり面の上部に亀裂が生じた場合には、浸透により堤防が緩み、堤体内にすべり面を生じていることもある。

また、小段や天端のり肩のような地形急変部では、のり面の初期的なすべり等変形に伴って亀裂、陥没等が発生しやすいので注意して点検する。

のり面の亀裂は、草丈が高い場合は発見が困難であるため、特に注意して監視を行う必要がある。

##### 2) 陥没・はらみ出し・法崩れ

陥没・はらみ出し・法崩れと言ったのり面の変状は、初期的なすべり変形に伴って発生している可能性があるため、特に注意が必要である。

のり面の陥没・はらみ出しについて、草丈が高くなると発見が難しくなるため、天端や少し離れたところから隣接する上下流ののり面と比較してみる等、局所的にのり面の変形が生じていないか、特に注意して監視を行う必要がある。

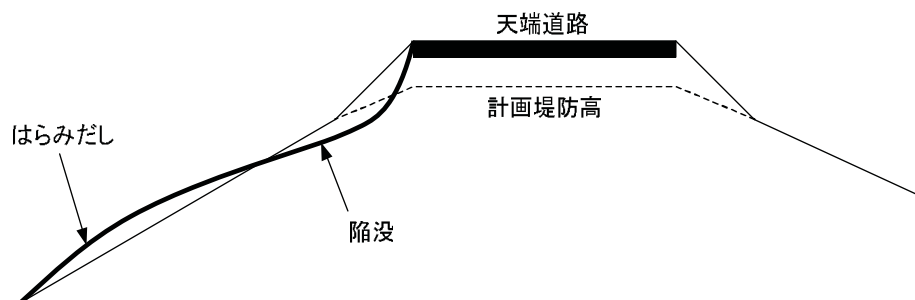


図 - 11 はらみ出し・陥没のイメージ

のり面及び小段の泥濘化している箇所はないか。

#### 【留意点】

のり面や小段が泥濘化している箇所では堤体土が弱体化しており、そのような箇所は注意を要する。

#### (4) 裏のり尻部

堤脚付近の堤体土が軟弱化し、流動化していないか。

##### 【留意点】

堤脚付近、のり尻付近は浸潤面上昇が最も起こりやすい箇所であり、飽和度の上昇によって堤体土が軟弱化し、流動化する可能性がある。したがって、堤脚付近の堤体土の軟弱化や流動化について注意深く監視を行う。

のり尻付近の漏水、噴砂はないか。

##### 【留意点】

のり尻付近において漏水、噴砂の発生やそれらの痕跡がある場合には、パイピングの発生が懸念される。パイピングは浸透流によって堤体基礎地盤内の土砂が侵食・運搬されることで生じ、パイピングの拡大によって堤体あるいは基礎地盤が陥没し、堤防決壊に至る可能性もある。そのため、のり尻付近に漏水、噴砂がないかを特に注意して監視する必要がある。

また、のり尻から離れた場所に噴砂を生じることがあるが、噴砂の量が多い場合や、付近に複数の噴砂孔を生じている場合は危険な場合もあるので留意する。

堤脚保護工の変形はないか。

##### 【留意点】

堤体の変形や沈下等に伴い、堤脚保護工の変形が生じることがある。変状やズレが大きいようであれば裏法すべりが懸念される。

ドレーン工やその近傍からの噴砂が生じていないか。

##### 【留意点】

ドレーン工からの排水（例えば、堤脚水路への排水等）に土砂が含まれる場合には、堤体材料が流出している可能性があるため、ドレーン工近傍の堤体の変状、特に噴砂を確認する。

## (5) 堤脚水路

堤脚水路の継目やその近傍からの噴砂が生じていないか。

### 【留意点】

堤脚水路の継目やその近傍から噴砂が生じている場合は、透水層を堤脚水路が遮断しており、堤体内の浸潤線が高く保たれている可能性がある。したがって、堤脚水路と法尻の間に基礎地盤漏水や噴砂等がないか、注意深く確認することとする。

## (6) 樋門等構造物周辺

裏のり尻や堤体と構造物との隙間から漏水が生じていないか。

### 【留意点】

構造物周辺では、材料が異なる構造境界面を通して漏水が発生することが考えられ、その進行は通常の堤防断面で生じるパイピング破壊よりも速いと想定されることから、濁りのない漏水を含めて注意深く確認することとする。

## 特別警報・危険警報・警報・注意報の基準

### 1. 水防活動用警報・注意報

仙台管区气象台又は気象庁が発表する水防活動の利用に適合する（以下「水防活動用」という。）警報・注意報は、指定河川洪水予報を除き、一般の利用に適合する特別警報、警報、注意報をもって代える。なお、水防活動の利用に適合する特別警報は設けられていない。

水防活動用警報又は注意報と対応する一般の利用に適合する特別警報、警報、注意報の種類及びそれらの発表基準は次のとおりである。

水防活動の利用に適合する警報・注意報	一般の利用に適合する特別警報・危険警報・警報・注意報	概要	関係法令
水防活動用 気象警報	レベル3大雨警報	大雨により重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。	法第10条第1項 気象業務法第13条第1項
	レベル4 大雨危険警報	大雨による重大な災害が起こるおそれ大きいと予想されたときに発表される。	
	レベル5 大雨特別警報	大雨による重大な災害が発生するおそれが著しく大きいと予想されたときに発表される。	法第10条第1項 気象業務法第14条の2第1項
水防活動用 津波警報	津波警報	津波により沿岸部や川沿いにおいて重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。	法第10条第1項 気象業務法第13条第1項
	津波特別警報 (大津波警報の 名称で発表)	津波により沿岸部や川沿いにおいて重大な災害が発生するおそれが著しく大きいと予想されたときに発表される。	法第10条第1項 気象業務法第13条の2第1項
水防活動用 高潮警報	レベル3高潮警報	台風や低気圧等による海面の異常な上昇により重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。	法第10条第1項 気象業務法第13条第1項
	レベル4 高潮危険警報	台風や低気圧等による異常な海面の上昇により重大な災害が発生するおそれが大きいと予想されたときに発表される。	
	レベル5 高潮特別警報	台風や低気圧等による海面の上昇が特に異常であるため重大な災害が発生するおそれが著しく大きいと予想されたときに発表される。	法第10条第1項 気象業務法第13条の2第1項
水防活動用 洪水警報	レベル3氾濫警報	大雨、河川の上流域での降雨、融雪等による河川の増水により、重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。	法第10条第1項 気象業務法第13条第1項
	レベル4氾濫危険 警報	大雨、河川の上流域での降雨、融雪等による河川の増水により、重大な災害が発生するおそれが大きいときに発表される。	
	レベル5氾濫特別 警報	大雨、河川の上流域での降雨、融雪等による河川の増水により、災害が切迫または既に発生しているおそれが著しく大きく、身の安全の確保が必要な場合に発表される。	法第10条第1項 気象業務法第13条の2第1項
水防活動用 気象注意報	レベル2 大雨注意報	大雨により浸水害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。	法第10条第1項 気象業務法第14条の2第1項
水防活動用 津波注意報	津波注意報	津波により沿岸部において災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。	法第10条第1項 気象業務法第13条第1項
水防活動用 高潮注意報	レベル2 高潮注意報	台風や低気圧等による海面の異常な上昇により重大な災害が予想されたときに発表される。	

水防活動用 洪水注意報	レベル2 氾濫注意 報	大雨、河川の上流域での降雨、融雪等による河川の増水により、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。	
----------------	----------------	---	--

(注1) 大きな地震等が発生し、通常よりも災害が発生しやすいと認められる場合は、大雨等の警報及び注意報の基準を暫定的に引き下げて運用することがある。

(注2) 高潮警報・注意報の潮位は一般に高さを示す「標高」で表す。「標高」の基準面として東京湾平均海面(TP)を用いる。

仙台市東部	府県予報区	宮城県	
	一次細分区域	東部	
	市町村等をまとめた地域	東部仙台	
特別警報	レベル5大雨	表面雨量指数基準	別紙1-1のレベル5大雨特別警報の基準値以上となる1km格子がおおむね30個以上まとまって出現し、さらに激しい雨が降り続くと予想される場合
		流域雨量指数基準	別紙1-2のレベル5大雨特別警報の基準値以上となる1km格子がおおむね20個以上まとまって出現し、さらに激しい雨が降り続くと予想される場合
	レベル5高潮	水位（高潮予報区間に限る）又は潮位	別紙4のレベル5高潮特別警報の基準値に到達することが予想される場合
危険警報	レベル4大雨	表面雨量指数基準	別紙1-3の対象格子において別紙1-1のレベル4大雨危険警報の基準値に到達することが予想される場合
		流域雨量指数基準	別紙1-4の対象河川の格子において別紙1-2のレベル4大雨危険警報の基準値に到達することが予想される場合
	レベル4高潮	水位（高潮予報区間に限る）又は潮位	別紙4のレベル4高潮危険警報の基準値に到達することが予想される場合（基準値に到達することが予想される場合に、おおむね6時間前までに発表）
警報	レベル3大雨	表面雨量指数基準	別紙1-1のレベル3大雨警報の基準値に到達することが予想される場合
		流域雨量指数基準	別紙1-2のレベル3大雨警報の基準値に到達することが予想される場合
		複合基準*1	別紙1-2のレベル3大雨警報の基準値に到達することが予想される場合
	レベル3高潮	水位（高潮予報区間に限る）又は潮位	別紙4のレベル4高潮危険警報の基準値に到達することが予想される場合（基準値に到達することが予想される場合に、おおむね12時間前までに発表）
		水位（高潮予報区間に限る）又は潮位	別紙4のレベル4高潮危険警報の基準値に到達することが予想される場合（基準値に到達することが予想される場合に、おおむね18時間前までに発表）
注意報	レベル2大雨	表面雨量指数基準	別紙1-1のレベル2大雨注意報の基準値に到達することが予想される場合
		流域雨量指数基準	別紙1-2のレベル2大雨注意報の基準値に到達することが予想される場合
		複合基準*1	別紙1-2のレベル2大雨注意報の基準値に到達することが予想される場合
	レベル2高潮	水位（高潮予報区間に限る）又は潮位	別紙4のレベル4高潮危険警報の基準値に到達することが予想される場合（基準値に到達することが予想される場合に、おおむね18時間前までに発表）
		水位（高潮予報区間に限る）又は潮位	別紙4のレベル4高潮危険警報の基準値に到達することが予想される場合（基準値に到達することが予想される場合に、おおむね18時間前までに発表）
レベル5 氾濫特別警報・レベル4 氾濫危険警報・レベル3 氾濫警報・レベル2 氾濫注意報の発表対象となる河川予報区のうち、仙台市東部に係る河川予報区名及び基準観測所名		名取川（名取橋）、広瀬川（広瀬橋）、七北田川（市名坂） 詳細は別紙3のとおり	

仙台市西部	府県予報区	宮城県	
	一次細分区域	西部	
	市町村等をまとめた地域	西部仙台	
特別警報	レベル5大雨	表面雨量指数基準	別紙1-1のレベル5大雨特別警報の基準値以上となる1km格子がおおむね30個以上まとまって出現し、さらに激しい雨が降り続くと予想される場合
		流域雨量指数基準	別紙1-2のレベル5大雨特別警報の基準値以上となる1km格子がおおむね20個以上まとまって出現し、さらに激しい雨が降り続くと予想される場合
危険警報	レベル4大雨	表面雨量指数基準	別紙1-3の対象格子において別紙1-1のレベル4大雨危険警報の基準値に到達することが予想される場合
		流域雨量指数基準	別紙1-4の対象河川の格子において別紙1-2のレベル4大雨危険警報の基準値に到達することが予想される場合
警報	レベル3大雨	表面雨量指数基準	別紙1-1のレベル3大雨警報の基準値に到達することが予想される場合
		流域雨量指数基準	別紙1-2のレベル3大雨警報の基準値に到達することが予想される場合
		複合基準*1	別紙1-2のレベル3大雨警報の基準値に到達することが予想される場合
注意報	レベル2大雨	表面雨量指数基準	別紙1-1のレベル2大雨注意報の基準値に到達することが予想される場合
		流域雨量指数基準	別紙1-2のレベル2大雨注意報の基準値に到達することが予想される場合
		複合基準*1	別紙1-2のレベル2大雨注意報の基準値に到達することが予想される場合
レベル5 氾濫特別警報・レベル4 氾濫危険警報・レベル3 氾濫警報・レベル2 氾濫注意報の発表対象となる河川予報区のうち、仙台市西部に係る河川予報区名及び基準観測所名		七北田川（市名坂） 詳細は別紙3のとおり	

## 2. 特別警報の指標及び危険警報・警報・注意報発表基準一覧表

\*1 表面雨量指数と流域雨量指数の組み合わせによる基準値を表しています。

- 別紙1-1 [https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kijun\\_new/miyagi/1\\_1\\_miyagi.csv](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kijun_new/miyagi/1_1_miyagi.csv)  
 別紙1-2 [https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kijun\\_new/miyagi/1\\_2\\_miyagi.csv](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kijun_new/miyagi/1_2_miyagi.csv)  
 別紙1-3 [https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kijun\\_new/miyagi/1\\_3\\_miyagi.csv](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kijun_new/miyagi/1_3_miyagi.csv)  
 別紙1-4 [https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kijun\\_new/miyagi/1\\_4\\_miyagi.csv](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kijun_new/miyagi/1_4_miyagi.csv)  
 別紙3 [https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kijun\\_new/miyagi/3\\_miyagi.csv](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kijun_new/miyagi/3_miyagi.csv)  
 別紙4 [https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kijun\\_new/miyagi/4\\_miyagi.csv](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kijun_new/miyagi/4_miyagi.csv)

## 市町村等版「特別警報の指標及び危険警報・警報・注意報発表基準一覧表」の解説

- (1) 本表は、気象・高潮に関する特別警報の指標及び危険警報・警報・注意報の発表基準を一覧表に示したものである。
- (2) 特別警報・危険警報・警報・注意報の定義は以下のとおりである。特別警報・危険警報・警報・注意報（河川氾濫に関するものを除く。）は、気象要素が本表の指標又は基準に達すると予想される市町村等に対して発表する。
  - ア 特別警報：予想される現象が特に異常であるため重大な災害の起こるおそれが著しく大きい旨を警告して行う予報
  - イ 危険警報：重大な災害が起こるおそれが大きい危険な状況である旨を警告して行う予報
  - ウ 警報：重大な災害が起こるおそれのある旨を警告して行う予報
  - エ 注意報：災害が起こるおそれのある旨を注意して行う予報
- (3) 表中において、対象の市町村等で現象が発現しない特別警報・危険警報・警報・注意報についてはその欄を斜線で、また現象による災害が極めて稀であり、災害との関係が不明確であるため具体的な基準を定めていない特別警報・危険警報・警報・注意報についてはその欄を空白で、それぞれ示している。
- (4) 地震や火山の噴火等、不測の事態により気象害にかかわる諸条件が変化し、通常基準を適用することが適切でない状態となることがある。このような場合は、非常措置として基準のみにとられない危険警報・警報・注意報の運用を行うことがある。また、このような状態がある程度長期間継続すると考えられる場合には、特定の危険警報・警報・注意報について、対象地域を必要最小限の範囲に限定して「暫定基準」を設定し、通常より低い基準で運用することがある。
- (5) 大雨に関する特別警報・危険警報・警報・注意報の表面雨量指数の基準値は市町村等の域内において単一の値をとり、流域雨量指数の基準値は河川ごとに1km四方の格子毎に設定している。レベル3大雨警報土レベル2大雨注意報の複合基準は、表面雨量指数と流域雨量指数の組み合わせによる基準値を示している
- (6) 河川氾濫に関する特別警報・危険警報・警報・注意報は、河川予報区単位で発表する。
- (7) 高潮に関する特別警報・危険警報の基準値に用いる潮位又は水位(※)は一般に高さを示す「標高」で表す。「標高」の基準面として東京湾平均海面 (TP) を用いるが、島嶼部など一部では国土地理院による高さの基準面あるいは MSL (平均潮位) 等を用いる。  
※潮位に波浪の打上げ高を加えた海面の高さ。高潮予報海岸に指定された海岸では、潮位と水位のいずれかの基準値に達すると予想される場合に高い方の警戒レベルの相当情報を発表する。

(特別警報・危険警報・警報・注意報を補足する情報)

気象庁は、注意報、警報、危険警報、特別警報を補足する情報として、キキクル及び流域雨量指数の予測値を発表する。これらの概要は、次のとおりである。

種 類	内 容
浸水キキクル	<p>短時間強雨による浸水害発生危険度の高まりの予測を、地図上で1km四方の領域ごとに5段階に色分けして示す情報。1時間先までの表面雨量指数の予測を用いて常時10分ごとに更新しており、大雨の警報等が発表されたときに、危険度が高まっている場所を面的に確認することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「災害切迫」(黒)：命の危険があり直ちに身の安全を確保する必要があるとされる警戒レベル5に相当。</li><li>・「危険」(紫)：危険な場所から避難する必要があるとされる警戒レベル4に相当。</li><li>・「警戒」(赤)：高齢者等が危険な場所から避難する必要があるとされる警戒レベル3に相当。</li><li>・「注意」(黄)：ハザードマップによる災害リスクの再確認等、避難に備え自らの避難行動の確認が必要とされる警戒レベル2に相当。</li></ul>
洪水キキクル	<p>指定河川洪水予報の発表対象ではない中小河川(水位周知河川及びその他河川)の洪水発生危険度の高まりの予測を、地図上で河川流路を概ね1kmごとに5段階に色分けして示す情報。3時間先までの流域雨量指数の予測を用いて常時10分ごとに更新しており、大雨の警報等が発表されたときに、危険度が高まっている場所を面的に確認することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「災害切迫」(黒)：命の危険があり直ちに身の安全を確保する必要があるとされる警戒レベル5相当。</li><li>・「危険」(紫)：危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル4に相当。</li><li>・「警戒」(赤)：高齢者等は危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル3に相当。</li><li>・「注意」(黄)：ハザードマップによる災害リスクの再確認等、避難に備え自らの避難行動の確認が必要とされる警戒レベル2に相当。</li></ul>
大雨キキクル	<p>浸水キキクルと洪水キキクルのメッシュを重ね合わせ、危険度の高い色を優先的に表示したものの。</p>
流域雨量指数の予測値	<p>各河川の、上流域での降雨による、下流の対象地点の洪水危険度(大河川においては、その支川や下水道の氾濫などの「湛水型内水氾濫」の危険度)の高まりの予測を、洪水警報等の基準への到達状況に応じて危険度を色分けした時系列で示す情報。流域内における雨量分布の実況と6時間先までの予測(解析雨量及び降水短時間予報等)を用いて常時10分ごとに更新している。</p>

### 3. 津波に関する警報、注意報、情報、予報

#### (1) 大津波警報、津波警報、津波注意報

気象庁は、地震が発生したときは地震の規模や位置を即時に推定し、これらを基に沿岸で予想される津波の高さを求め、地震が発生してから約3分を目標に大津波警報、津波警報又は津波注意報（以下これらを「津波警報等」という。）を津波予報区単位で発表する。なお、大津波警報については、津波特別警報に位置付けられる。

津波警報等と共に発表する予想される津波の高さは、通常は5段階の数値で発表する。ただし、地震の規模がマグニチュード8を超えるような巨大地震に対しては、精度のよい地震の規模をすぐに求めることができないため、津波警報等発表の時点では、その海域における最大の津波想定等をもとに津波警報等を発表する。その場合、最初に発表する大津波警報や津波警報では、予想される津波の高さを「巨大」や「高い」という言葉を用いて発表し、非常事態であることを伝える。予想される津波の高さを「巨大」などの言葉で発表した場合には、その後、地震の規模が精度良く求められた時点で津波警報等を更新し、津波情報では予想される津波の高さも数値で発表する。

#### (ア) 津波警報等の種類と発表される津波の高さ等

津波警報等の種類	発表基準	発表される津波の高さ(※)		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表	巨大地震の場合の発表	
大津波警報	予想される津波の最大波の高さが高いところで3mを超える場合	10m超 (10m<予想される津波の最大波の高さ)	巨大	巨大な津波が襲い、木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や津波避難ビルなど安全な場所へ避難する。警報が解除されるまで安全な場所から離れない。
		10m (5m<予想される津波の最大波の高さ≤10m)		
		5m (3m<予想される津波の最大波の高さ≤5m)		
津波警報	予想される津波の最大波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合	3m (1m<予想される津波の最大波の高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や津波避難ビルなど安全な場所へ避難する。警報が解除されるまで安全な場所から離れない。
津波注意報	予想される津波の最大波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合	1m (0.2m≤予想される津波の最大波の高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆する。海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れる。海水浴や磯釣りは危険なので行わない。注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしない。

※「津波の高さ」とは、津波によって潮位が高くなった時点における潮位と、その時点で津波がなかったとした場合の潮位との差であって、津波によって潮位が上昇した高さをいう。

#### (イ) 津波警報等の留意事項

- ・沿岸に近い海域で大きな地震が発生した場合、津波警報等の発表が津波の襲来に間に合わない場合がある。
- ・津波警報等は、精査した地震の規模や実際に観測した津波の高さをもとに、更新する場合もある。
- ・津波による災害のおそれがなくなると認められる場合、津波警報等の解除を行う。

このうち、津波の観測状況等により、津波が更に高くなる可能性は小さいと判断した場合には、津波の高さが津波注意報の発表基準未満となる前に、海面変動が継続することや留意事項を付して解除を行う場合がある。

- ・強い揺れを伴わないが大きな津波が発生するいわゆる津波地震や、火山の噴火、大規模な地すべり等（海底での地すべり等を含む。）により津波が発生し、津波警報等が発表されることがある。

(2) 津波情報

気象庁は、津波警報等を発表した場合には、各津波予報区の津波の到達予想時刻や予想される津波の高さ、各観測点の満潮時刻や津波の到達予想時刻等を津波情報で発表する。

(ア) 津波情報の種類と発表内容

情報の種類	発表内容
津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報 <sup>(注1)</sup>	各津波予報区の津波の到達予想時刻 <sup>(注2)</sup> や予想される津波の高さ（発表内容は津波警報・注意報の種類別の表に記載）を発表
各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報	主な地点の満潮時刻や津波の到達予想時刻を発表
津波観測に関する情報	沿岸で観測した津波の時刻や高さを発表 <sup>(注3)</sup>
沖合の津波観測に関する情報	沖合で観測した津波の時刻や高さ、及び沖合の観測値から推定される沿岸での津波の到達時刻や高さを津波予報区単位で発表 <sup>(注4)</sup>

(注1) 「津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報」は、XML電文では「津波警報・注意報・予報」(VTSE41)に含まれる。

(注2) この情報で発表される到達予想時刻は、各津波予報区で最も早く津波が到達する時刻である。場所によっては、この時刻よりも1時間以上遅れて津波が襲来することもある。

(注3) 津波観測に関する情報の発表内容について

- ・沿岸で観測された津波の第1波の到達時刻と押し引き、及びその時点までに観測された最大波の観測時刻と高さを発表する。
- ・最大波の観測値については、大津波警報又は津波警報を發表中の津波予報区において、観測された津波の高さが低い間は、数値ではなく「観測中」の言葉で発表して、津波が到達中であることを伝える。
- ・障害によって観測点からデータが入手できない場合や、地震発生後に何らかの原因でデータが入手できなくなった場合など、津波の観測ができなくなっている観測点は「欠測」と発表する。「欠測」の観測点ではデータが入手できていないものの津波が襲来している可能性がある、ということ念頭に、発表中の津波警報等に応じて適切に対応する。

(注4) 沖合の津波観測に関する情報の発表内容について

- ・沖合で観測された津波の第1波の観測時刻と押し引き、その時点までに観測された最大波の観測時刻と高さを観測点ごとに発表する。また、これら沖合の観測値から推定される沿岸での推定値（第1波の推定到達時刻、最大波の推定到達時刻と推定高さ）を津波予報区単位で発表する。
- ・最大波の観測値及び推定値については、沿岸での観測と同じように避難行動への影響を考慮し、一定の基準を満たすまでは数値を発表しない。大津波警報又は津波警報が發表中の津波予報区において、沿岸で推定される津波の高さが低い間は、数値ではなく「観測中」（沖合での観測値）または「推定中」（沿岸での推定値）の言葉で発表して、津波が到達中であることを伝える。

《沿岸で観測された津波の最大波の発表内容》

津波警報等の発表状況	観測された津波の高さ	内容
大津波警報	1m超	数値で発表
	1m以下	「観測中」と発表
津波警報	0.2m以上	数値で発表
	0.2m未満	「観測中」と発表
津波注意報	(すべての場合)	数値で発表（津波の高さがごく小さい場合は「微弱」と表現）

《沖合で観測された津波の最大波（観測値及び沿岸での推定値<sup>(注)</sup>）の発表内容》

発表中の津波警報等	沿岸で推定される津波の高さ	発表内容
大津波警報	3m超	沖合での観測値、沿岸での推定値とも数値で発表
	3m以下	沖合での観測値を「観測中」、沿岸での推定値は「推定中」と発表
津波警報	1m超	沖合での観測値、沿岸での推定値とも数値で発表
	1m以下	沖合での観測値を「観測中」、沿岸での推定値は「推定中」と発表
津波注意報	(すべての場合)	沖合での観測値、沿岸での推定値とも数値で発表

(注) 沿岸から距離が100kmを超えるような沖合の観測点では、津波予報区との対応付けが難しいため、沿岸での推定値は発表しない。また、最大波の観測値については数値ではなく「観測中」の言葉で発表して、津波が到達中であることを伝える。

(イ) 津波情報の留意事項

①津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報

- ・津波到達予想時刻は、津波予報区の中で最も早く津波が到達する時刻である。同じ津波予報区の中でも場所によっては、この時刻よりも数十分、場合によっては1時間以上遅れて津波が襲来することがある。
- ・津波の高さは、一般的に地形の影響等のため場所によって大きく異なることから、局所的に予想される津波の高さより高くなる場合がある。

②各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報

- ・津波と満潮が重なると、潮位の高い状態に津波が重なり、被害がより大きくなるので一層の警戒が必要である。

③津波観測に関する情報

- ・津波による潮位変化（第1波の到達）が観測されてから最大波が観測されるまでに数時間以上かかることがある。
- ・場所によっては、検潮所で観測した津波の高さよりも更に大きな津波が到達しているおそれがある。

④沖合の津波観測に関する情報

- ・津波の高さは、沖合での観測値に比べ、沿岸では更に高くなる。
- ・津波は非常に早く伝わり、「沖合の津波観測に関する情報」が発表されてから沿岸に津波が到達するまで5分とかからない場合もある。また、地震の発生場所によっては、情報の発表が津波の到達に間に合わない場合もある。

(3) 津波予報

気象庁は、地震発生後、津波による災害が起こるおそれがない場合には、以下の内容を津波予報で発表する。

	発表基準	内容
津波予報	津波が予想されないとき (地震情報に含めて発表)	津波の心配なしの旨を発表
	0.2m未満の海面変動が予想されたとき	高いところでも0.2m未満の海面変動のため被害の心配はなく、特段の防災対応の必要がない旨を発表
	津波注意報の解除後も海面変動が継続するとき	津波に伴う海面変動が観測されており、今後も継続する可能性が高いため、海に入っの作業や釣り、海水浴等に際しては十分な留意が必要である旨を発表

**正規**

〇〇〇〇 かわ  
**〇〇川**  
**レベル5 氾濫特別警報/氾濫発生情報**  
**(警戒レベル5相当情報)**

〇〇川洪水予報第〇号  
 令和〇〇年〇月〇日〇時〇〇分  
かせんじむしょ ちほう きしやう たい  
 〇〇河川事務所 / 〇〇地方气象台 発表

(見出し)

**〇〇川では、氾濫しているおそれ**  
**氾濫のおそれがある区間：〇〇川〇〇水位観測所受け持ち区間**

(主文)

【警戒レベル5相当】〇〇基準観測所(〇〇市)受け持ち区間  
 災害が発生しているおそれがあります。〇〇川の〇〇基準観測所(〇〇市)では「氾濫発生水位」に到達しました。〇〇川では氾濫が既に発生している可能性があり、〇〇市、〇〇市、〇〇町では浸水しているおそれがあります。直ちに、市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。

【警戒レベル3相当】△△基準観測所(△△市)受け持ち区間  
 これは、高齢者等避難の発令の目安です。〇〇川の△△基準観測所(△△市)では、当分の間、「避難判断水位」付近の水位が続く見込みです。引き続き、市町村からの避難情報に十分注意するとともに、適切な防災行動をとってください。

(警戒レベル相当情報等早見表)

〇〇川レベル5 氾濫特別警報/氾濫発生情報 (警戒レベル5相当情報)			
新 着 ・ 更 新	新着・更新		更新
	基準観測所名		〇〇
	対象河川		〇〇川
	警戒レベル( )相当		5
水 位 又 は 流 量	現況	5 (氾濫しているおそれ)	3 (レベル3水位超過)
	予測		
更新	〇〇市	5	-
更新	△△市	5	3
更新	〇〇町	-	3

5	警戒レベル5相当
4	警戒レベル4相当
3	警戒レベル3相当
2	警戒レベル2
	警戒レベル2未満

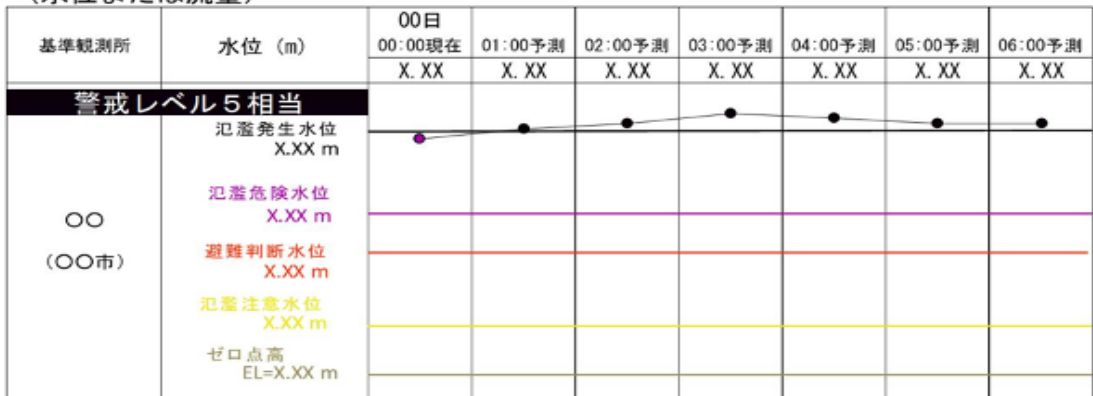
市区町村ごとの警戒レベル相当の数値は、同一洪水予報区間内の基準観測所の受け持ち区間ごとの警戒レベル相当情報に基づいて、それぞれの氾濫による浸水が想定される地区が含まれる市区町村に対して一律に表示しているものです。  
 警戒レベル相当早見表の見方について[防災用語ウェブサイト：早見表]  
<https://www.river.go.jp/kawabou/glossary/pc/term?key=hayamihyo>

(雨量)

多いところでは1時間に〇〇ミリの雨が降っています。  
 この雨は当分この状態が続くでしょう。

流域	〇〇日〇〇時〇〇分～〇〇日〇〇時〇〇分 までの流域平均雨量	〇〇日〇〇時〇〇分～〇〇日〇〇時〇〇分 までの流域平均雨量の見込み
〇〇川流域	〇〇〇ミリ	〇〇ミリ

(水位または流量)



基準観測所	水位 (m)	00日						
		00:00現在	01:00予測	02:00予測	03:00予測	04:00予測	05:00予測	06:00予測
		X.XX	X.XX	X.XX	X.XX	X.XX	X.XX	X.XX
<b>警戒レベル3相当</b>								
△△ (△△市)	氾濫発生水位 X.XX m							
	氾濫危険水位 X.XX m							
	避難判断水位 X.XX m							
	氾濫注意水位 X.XX m							
	ゼロ点高 EL=X.XX m							

・ゼロ点高に関する解説 [https://www.river.go.jp/kawabou/glossary/kwb\\_apend/html/reference.html](https://www.river.go.jp/kawabou/glossary/kwb_apend/html/reference.html)  
(参考)

(受け持ち区間)

基準観測所	〇〇 水位観測所	△△ 水位観測所	
		〇〇市	△△市
受け持ち区間	〇〇川	〇〇川	
	左岸 〇〇市〇〇地区から〇〇地区まで 右岸 〇〇市〇〇地区から〇〇地区まで	左岸 △△市△△地区から△△地区まで 左岸 △△市△△地区から△△地区まで	

雨の情報を知りたい方はこちら

今後の雨 (解析雨量、降水短時間予報)	<a href="https://XX">https://XX</a>
---------------------	---

洪水予報文、川の水位を確認したい方はこちら

川の防災情報 洪水予報画面	<a href="https://XX">https://XX</a>
---------------	---

河川の氾濫危険度を知りたい方はこちら

水害リスクライン	<a href="https://XX">https://XX</a>
----------	---

氾濫の影響が想定される区域を知りたい方はこちら

浸水ナビ	<a href="https://XX">https://XX</a>
------	---



イメージ

今後の雨(解析雨量、降水短時間予報)



イメージ

川の防災情報  
洪水予報画面



イメージ

水害リスクライン



イメージ

浸水ナビ

問い合わせ先

水位関係：国土交通省 〇〇河川事務所 〇〇課 電話：XXX-XXX-XXXX

気象関係：気象庁 〇〇地方気象台 電話：XXX-XXX-XXXX

# 〇〇川氾濫注意情報 (警戒レベル2相当情報)

〇 〇 川洪水予報 第 1 号  
 洪水注意報 ( 発 表 )  
 令和〇年 〇 月 〇 日 〇 時 〇 分  
みやぎけん せんだいかんくきしょうだい  
 宮城県 仙台管区気象台 共同発表

## (見出し)

〇〇がわ  
 〇〇川では、氾濫注意水位に到達し、今後、水位はさらに上昇する見込み

## (主文)

【警戒レベル2相当】 〇〇がわの 〇〇基準観測所 ( 〇〇市・町 ) では、「氾濫注意水位」に到達し、今後、水位はさらに上昇する見込みです。洪水に関する情報に注意してください。

## (警戒レベル相当情報早見表)

〇〇川氾濫注意情報 (警戒レベル2相当情報)		
新着・更新 基準観測所	新着 〇〇	〇〇
対象河川	〇〇川	〇〇川
新着・更新	警戒レベル ( ) 相当	2
	現況水位	2 レベル2水位超過
	予測水位	
新着	〇〇市	2 -
新着	〇〇郡〇〇町	2 -
新着	〇〇郡〇〇町	2
	〇〇郡〇〇町	-

市区町村ごとの警戒レベル相当の数値は、同一洪水予報区間内の基準水位観測所の受け持ち区間ごとの警戒レベル相当情報に基づいて、それぞれの氾濫による浸水が想定される地区が含まれる市区町村に対して一律に表示しているものです。

警戒レベル相当早見表の見方について

[防災用語ウェブサイト：早見表]

<https://www.river.go.jp/kwabou/glossary/pc/term?key=hayamihyo>

5	警戒レベル5相当
4	警戒レベル4相当
3	警戒レベル3相当
2	警戒レベル2相当
	警戒レベル2未満

(雨量)

多いところで、1時間に〇〇ミリの雨が降っています。

この雨は当分この状態が続くでしょう。

流域	〇日〇時〇分～〇日〇時〇分までの流域平均雨量	〇日〇時〇分～〇日〇時〇分までの流域平均雨量の見込み
〇〇川流域	〇ミリ	〇ミリ

(水位または流量)

基準観測所	水位 (m)	〇日	〇:00現在	〇:00予測	〇:00予測	〇:00予測	〇:00予測	〇:00予測	〇:00予測
		〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	-	-	-	
警戒レベル2相当									
〇〇 (〇〇市)	氾濫危険水位 〇〇m								
	避難判断水位 〇〇m								
	氾濫注意水位 〇〇m ゼロ点高 E.L.= 〇〇 m								

基準観測所	水位 (m)	〇日	〇:00現在	〇:00予測	〇:00予測	〇:00予測	〇:00予測	〇:00予測	〇:00予測
		-	-	-	-	-	-	-	
〇〇 (〇〇郡〇〇町)	氾濫危険水位 〇〇m								
	避難判断水位 〇〇m								
	氾濫注意水位 〇〇m ゼロ点高 E.L.= 〇〇 m								

・ ゼロ点高に関する解説

[https://www.river.go.jp/kawabou/glossary/kwb\\_apend/html/reference.html](https://www.river.go.jp/kawabou/glossary/kwb_apend/html/reference.html)

(参考)

(受け持ち区間)

基準観測所	〇〇 基準観測所	〇〇 基準観測所	
	〇〇市	〇〇郡〇〇町	
	〇〇川	〇〇川	
受け持ち区間	左岸 〇〇市〇〇〇〇から〇〇市〇〇〇〇まで	左岸 〇〇市〇〇〇〇から〇〇市〇〇〇〇まで	
	右岸 〇〇市〇〇〇〇から〇〇市〇〇〇〇まで	右岸 〇〇市〇〇〇〇から〇〇市〇〇〇〇まで	

☐雨の情報を知りたい方はこちら

今後の雨 (解析雨量・降水短時間予報)	<a href="https://www.jma.go.jp/bosai/kaikotan/#zoom:8/lat:38.049166700/lon:140.736666700/colordepth:normal/elements:slmcs&amp;slmcs_fcst&amp;rasrf">https://www.jma.go.jp/bosai/kaikotan/#zoom:8/lat:38.049166700/lon:140.736666700/colordepth:normal/elements:slmcs&amp;slmcs_fcst&amp;rasrf</a>
---------------------	---

□洪水予報文、川の水位を確認したい方はこちら

川の防災情報 洪水予報画面	<a href="https://www.river.go.jp/kwabou/pc/rw?rwtype=10&amp;rwcd=8202001200">https://www.river.go.jp/kwabou/pc/rw?rwtype=10&amp;rwcd=8202001200</a>
---------------	---

□河川の氾濫危険度を知りたい方はこちら

水害リスクライン	<a href="https://frl.river.go.jp/TopViewMain?header&amp;areacd=82">https://frl.river.go.jp/TopViewMain?header&amp;areacd=82</a>
----------	---

□氾濫の影響が想定される区域を知りたい方はこちら

浸水ナビ	<a href="https://suiboumap.gsi.go.jp/ShinsuiMap/Map/?x=140.736666700&amp;y=38.049166700&amp;z=13">https://suiboumap.gsi.go.jp/ShinsuiMap/Map/?x=140.736666700&amp;y=38.049166700&amp;z=13</a>
------	---



今後の雨  
(解析雨量・  
降水短時間予報)



川の防災情報  
洪水予報画面



水害リスクライン



浸水ナビ

問い合わせ先

水位関係：宮城県 土木部河川課 電話：022-211-3173

気象関係：気象庁 仙台管区气象台 気象防災部予報課 電話：022-297-8003

〇〇川 氾濫危険情報

年号〇〇年〇〇月〇〇日  
〇〇時〇〇分発表  
宮城県〇〇〇〇事務所  
(第 〇 報)

【主文】

【警戒レベル〇相当】 〇〇〇川の〇〇〇水位観測所（〇〇市△△町）では、〇〇日〇〇時〇〇分頃に避難指示の発令の目安となる〇〇〇〇水位（〇〇. 〇〇m）に到達しました。

市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。

（参考）

〇〇川 〇〇〇水位観測所（〇〇市〇〇町）

受け持ち区間は 〇〇〇～〇〇〇

氾濫危険水位	〇〇〇m	水防法第13条で規定される洪水特別警戒水位 いつ氾濫してもおかしくない状態 避難等の氾濫発生に対応を求める段階
避難判断水位	〇〇〇m	避難準備などの氾濫発生に対する警戒を 求める段階
氾濫注意水位	〇〇〇m	氾濫発生に対する注意を求める段階

※避難判断水位，氾濫危険水位：水位観測所受け持ち区間内の危険箇所の避難判断水位，  
氾濫危険水位を水位観測所に換算した水位。

問い合わせ先 宮城県〇〇〇事務所〇〇班

電話：000-000-0000 F A X：000-000-0000

（参考）「雨量」「水位」等の情報は、下記のサイトからもご覧いただけます。

宮城県土木部総合情報システム

<http://www.dobokusougou.pref.miyagi.jp/>

（発信者

）（受信者

）（

時

分

受信）

〇〇〇川 氾濫危険情報

※氾濫危険水位（洪水特別警戒水位）を下回った場合

年号〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇時〇〇分発表

宮城県〇〇〇〇〇事務所

（第 〇 報）

【主文】

【警戒レベル〇相当に引き下げ】 〇〇〇川の〇〇〇水位観測所（〇〇市△△町）では、〇〇日〇〇時〇〇分頃に氾濫危険水位（〇〇. 〇〇m）を下回り、今後、水位は下降する見込みです。

（参考）

〇〇川 〇〇〇水位観測所（〇〇市〇〇町）

受け持ち区間は 〇〇〇～〇〇〇

氾濫危険水位	〇〇〇m	水防法第13条で規定される洪水特別警戒水位 いつ氾濫してもおかしくない状態 避難等の氾濫発生に対応を求める段階
避難判断水位	〇〇〇m	避難準備などの氾濫発生に対する警戒を 求める段階
氾濫注意水位	〇〇〇m	氾濫発生に対する注意を求める段階

※避難判断水位、氾濫危険水位：水位観測所受け持ち区間内の危険箇所の避難判断水位、  
氾濫危険水位を水位観測所に換算した水位。

問い合わせ先 宮城県〇〇〇事務所〇〇班

電話：000-000-0000 F A X：000-000-0000

（参考）

「雨量」「水位」等の情報は、下記のサイトからもご覧いただけます。

宮城県土木部総合情報システム

<http://www.dobokusougou.pref.miyagi.jp/>

（発信者

）（受信者

）（

時

分

受信）

正規

## 水防警報（出動）

発令河川	基準水位観測所	発表番号
名取川	名取橋水位観測所	第00号

令和00年 00月 00日 00時00分

国土交通省 仙台河川国道事務所発表

## 【現況】

名取川の名取橋水位観測所（仙台市）の水位は、00日 00時 00分  
現在00.00mです。

## 【発表】

水防機関は出動してください。

## (参考)

名取川 名取橋水位観測所（仙台市）

（受け持ち区間は 名取川左岸：仙台市名取川頭首工から名取市閑上大橋、右岸：仙台市名取川頭首工から名取市閑上大橋）

問い合わせ先

国土交通省 仙台河川国道事務所 流域治水課 電話：022-304-1827 (内線) 354

## (参考)

名取橋【宮城県仙台市】

計画高水位 : 10.19m  
 氾濫危険水位 : 9.20m  
 避難判断水位 : 8.30m  
 氾濫注意水位 : 6.50m  
 水防団待機水位 : 5.50m

## (参考)

「雨量」「水位」等の情報は、下記のサイトからもご覧いただけます。

川の防災情報	パソコンから	携帯電話から
	<a href="https://www.river.go.jp/">https://www.river.go.jp/</a>	

# 水 防 警 報

河 川 名	種 別	発表番号	発 表 日 時	発表事務所
			月 日 時 分	土木事務所

本 文

1 (待機・準備)

① 時 分現在水位は、② 量水標において③ mに達し、1時間④ cmの割合で上昇中。⑤ では水防準備が必要です。

2 (出 動)

① 時 分現在水位は、② 量水標において③ mに達し、1時間約④ cmの割合をもって上昇中で大きな洪水になりそうですから⑤ では水防団の出動が必要です。

3 (解 除)

① 時 分現在水位は、② 量水標において③ mとなり、引き続き減水する見込みです。④ における水防警報を解除します。

(発信者 ) (受信者 ) ( 時 分送受信)

参考：水防団待機水位（通報水位） \_\_\_\_\_ m  
 氾濫注意水位（警戒水位） \_\_\_\_\_ m  
 発令対象： \_\_\_\_\_ 市・町・村

【第〇報】

通知 7

ダム連絡

正規

通知（受信確認が必要）

**緊急**

釜房ダム

**【重要通知 緊急放流 〇時間前】**

令和〇年〇月〇日〇時〇分

釜房ダム管理所

発信者：管理係

<ダム操作に関する通知>

名取川水系基石川釜房ダム（宮城県川崎町）では、現在、防災操作（洪水調節）を行っています。

今後、計画規模を超える洪水が予想されるため、ダムに水を貯められなくなり、〇月〇日

〇時〇分頃から下流に流れる水量が増える 緊急放流（異常洪水時防災操作）を実施します。

そのため、洪水氾濫のおそれがあります。

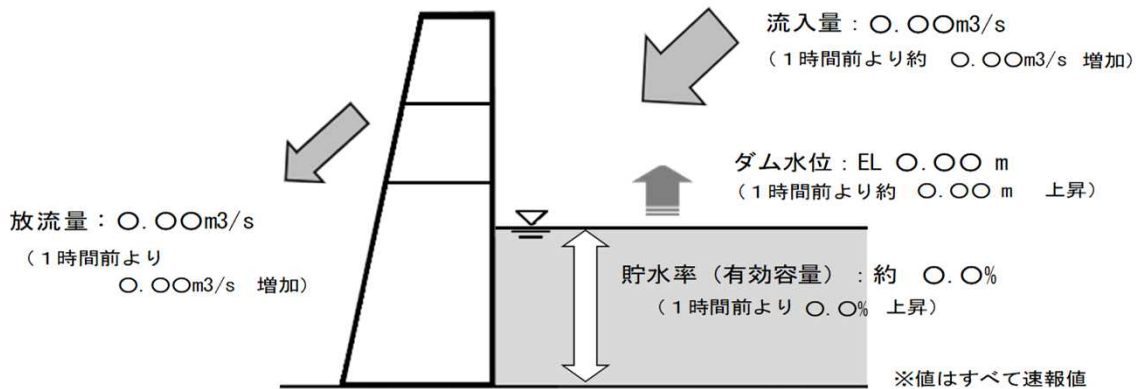
移行する場合は、おおむね 1 時間前にも事前通知をしますので、ダムからの連絡等に注意してください。

※今後の降雨状況により時間が前後する可能性がありますので、ご注意ください。

- ・ダム下流の河川で水量・水位が増加し、氾濫のおそれがあります。
- ・避難指示等の措置が必要。

【ダム情報】

現在時刻：〇月〇日〇時〇分



※川の防災情報： <https://www.river.go.jp/>

※ダム情報のホームページ： <https://www.thr.mlit.go.jp/kamafusa/>

<受信確認>

釜房ダム管理所

TEL:0224-84-2171

FAX:0224-84-4490

発信機関	発信者	発信時刻	受信機関	受信者	受信時刻
釜房ダム管理所	管理係	令和〇年〇月〇日〇時 〇分			

■緊急放流について

本連絡での緊急放流とは、ダムの能力を超えるような大雨によりダムが満水になるとダム上流側から流入する水をそれ以上貯留できなくなることから、ダムからの放流量をダムへの流入量と同程度となるように増加させ、満水に達したらダムへの流入量をそのまま下流に通過させる操作（異常洪水時防災操作）を行うことです。

【第〇報】

通知8

ダム連絡

正規

通知（受信確認が必要）

**緊急**

釜房ダム

**【重要通知 緊急放流 1時間前】**

令和〇年〇月〇日〇時〇分

釜房ダム管理所

発信者：管理係

＜ダム操作に関する通知＞

名取川水系碁石川釜房ダム（宮城県川崎町）では、現在、防災操作（洪水調節）を行っていますが、防災操作（洪水調節）に使用できるダムの空容量が減少しています。

今後、計画規模を超える洪水が予想されるため、ダムに水を貯められなくなり、〇月〇日〇時〇分頃から下流に流れる水量が増える 緊急放流（異常洪水時防災操作）を実施します。

そのため、洪水氾濫のおそれがあります。

緊急放流（異常洪水時防災操作）に移行した場合は、ただちにその旨を通知します。

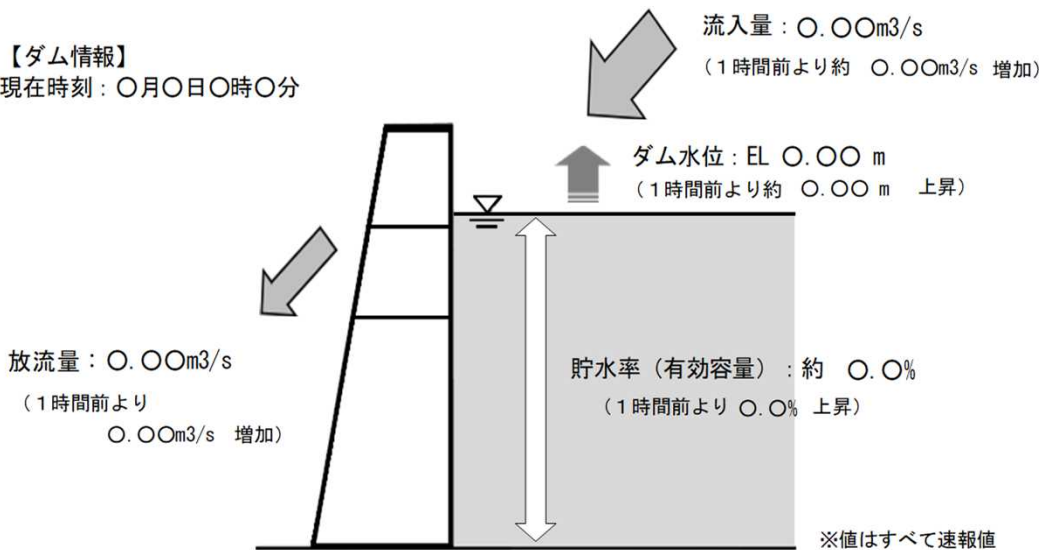
※今後の降雨状況により時間が前後する可能性がありますので、ご注意ください。

・ダム下流の河川で水量・水位が増加し、氾濫のおそれがあります。

・避難指示等の措置が必要です。

【ダム情報】

現在時刻：〇月〇日〇時〇分



※川の防災情報：<https://www.river.go.jp/>

※ダム情報のホームページ：<https://www.thr.mlit.go.jp/kamafusa/>

＜受信確認＞

釜房ダム管理所

TEL：0224-84-2171

FAX：0224-84-4490

発信機関	発信者	発信時刻	受信機関	受信者	受信時刻
釜房ダム管理所	管理係	令和〇年〇月〇日〇時〇分			

■緊急放流について

本連絡での緊急放流とは、ダムの能力を超えるような大雨によりダムが満水になるとダム上流側から流入する水をそれ以上貯留できなくなることから、ダムからの放流量をダムへの流入量と同程度となるように増加させ、満水に達したらダムへの流入量をそのまま下流に通過させる操作（異常洪水時防災操作）を行うことです。

【第〇報】

通知 9

ダム連絡

正規

通知（受信確認が必要）

**緊急**

釜房ダム

**【重要通知 緊急放流 開始】**

令和〇年〇月〇日〇時〇分

釜房ダム管理所

発信者：管理係

＜ダム操作に関する通知＞

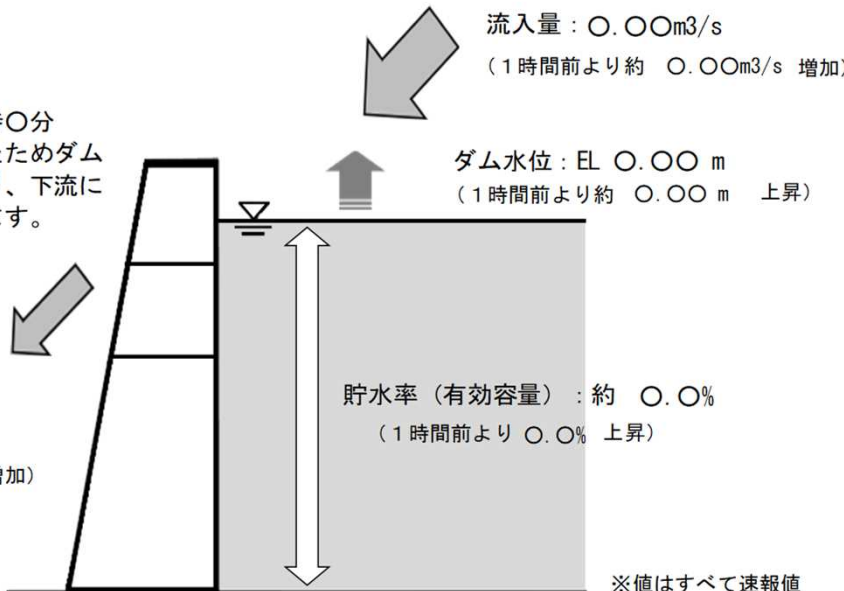
名取川水系碯石川釜房ダム（宮城県川崎町）では、計画規模を超える洪水のため、〇月〇日〇時〇分に 緊急放流（異常洪水時防災操作） を開始しました。

- ・ダム下流の河川で更に水量・水位が増加し、氾濫の危険あり。
- ・避難指示等の措置が必要。

【ダム情報】

現在時刻：〇月〇日〇時〇分  
ダムの空容量が減少したためダムに水を貯められなくなり、下流に流れる水量が増えています。

放流量：〇.〇〇m<sup>3</sup>/s  
(1時間前より  
〇.〇〇m<sup>3</sup>/s 増加)



※川の防災情報：<https://www.river.go.jp/>

※ダム情報のホームページ：<https://www.thr.mlit.go.jp/kamafusa/>

＜受信確認＞

釜房ダム管理所

TEL：0224-84-2171

FAX：0224-84-4490

発信機関	発信者	発信時刻	受信機関	受信者	受信時刻
釜房ダム管理所	管理係	令和〇年〇月〇日〇時 〇分			

■緊急放流について

本連絡での緊急放流とは、ダムの能力を超えるような大雨によりダムが満水になるとダム上流側から流入する水をそれ以上貯留できなくなることから、ダムからの放流量をダムへの流入量と同程度となるように増加させ、満水に達したらダムへの流入量をそのまま下流に通過させる操作（異常洪水時防災操作）を行うことです。

### 釜房ダム緊急放流 終了の情報

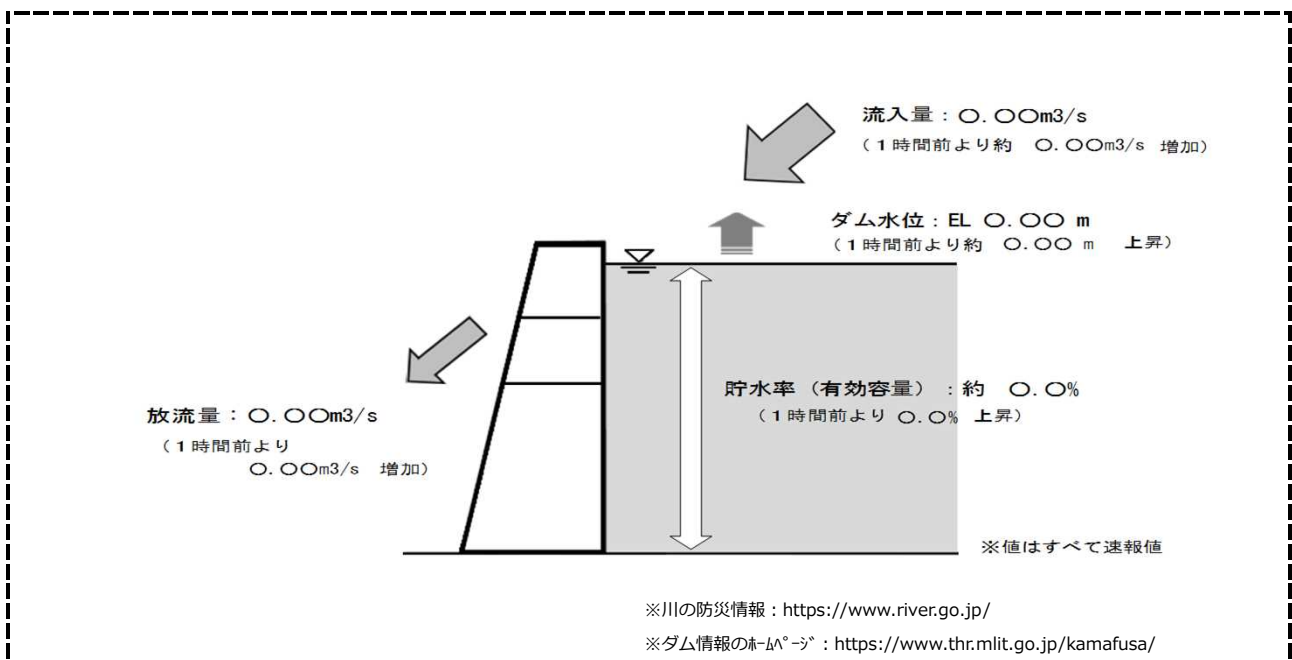
令和〇年〇月〇日〇時〇分

釜房ダム管理所

<ダム操作に関する連絡>

発信者：管理係

名取川水系碓石川釜房ダム（宮城県川崎町）では、流入量が計画最大のダム流下量（計画最大放流量）を下回ったため、〇月〇日〇時〇分に 緊急放流（異常洪水時防災操作）を終了しました。  
今後、ダム流下量（放流量）を低下させますが、河川水位は引き続き高い状態が続きますので、注意してください。



■緊急放流について

本連絡での緊急放流とは、ダムの能力を超えるような大雨によりダムが満水になるとダム上流側から流入する水をそれ以上貯留できなくなることから、ダムからの放流量をダムへの流入量と同程度となるように増加させ、満水に達したらダムへの流入量をそのまま下流に通過させる操作（異常洪水時防災操作）を行うことです

(様式 イ)

副 所 長	河川管理 課 長	名 取 川 出張所長

名取川出張所 日 時 分 → 河川管理課 日 時 分

## 策川樋門操作（閉扉）に関する情報

国土交通省仙台河川国道事務所

名取橋水位観測所の水位は、       日        時        分現在、       mに達し、

名取川本川から旧策川への逆流  $\left\{ \begin{array}{l} \text{が始まった} \\ \text{のおそれがある} \end{array} \right\}$  ことから、

       日        時        分

より、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{策川樋門のゲート} \\ \text{に、} \end{array} \right\}$   $\left\{ \begin{array}{l} \text{の閉扉操作を開始} \\ \text{を全閉} \end{array} \right\}$  したので、

情報提供します。

なお、策川樋門の内外水位（量水標）は        日        時        分現在、

内水位（堤内地側） :        .        m

外水位（堤外地側） :        .        m となっております。

発信者・送信時刻	受信者・受信確認
仙台河川国道事務所河川管理課 日 時 分 _____ FAX 304-1905	宮城県仙台土木事務所 日 時 分 TEL 297-4155 FAX 297-4155
	仙台市消防局 日 時 分 TEL 234-1111 FAX 234-2364
	同報（危機管理局 FAX 214-8096） （河川課 FAX 268-4312）

※原則、「全閉」に関する情報を共有。

(様式 ロ)

副 所 長	河川管理 課 長	名 取 川 出張所長

名取川出張所 日 時 分 → 河川管理課 日 時 分

## 笹川樋門操作（開扉）に関する情報

国土交通省仙台河川国道事務所

笹川樋門のゲートは、日 時 分から全閉しておりましたが、

内水位が外水位より

<p>高くなった</p> <p>高くなる見込みである</p>	}	ことから、

日 時 分

より、

}	笹川樋門のゲート	}	の開扉操作を開始	}	したので、

情報提供します。

なお、笹川樋門の内外水位（量水標）は日 時 分現在、

内水位（堤内地側） : . m

外水位（堤外地側） : . m となっております。

発信者・送信時刻	受信者・受信確認
仙台河川国道事務所河川管理課 日 時 分 _____ FAX 304-1905	宮城県仙台土木事務所 日 時 分 TEL 297-4155 FAX 297-4155
	仙台市消防局 日 時 分 TEL 234-1111 FAX 234-2364
	同報（危機管理局 FAX 214-8096） （河川課 FAX 268-4312）

※原則、「全開」に関する情報を共有。